BOOK NEWS *from* MARUZEN-YUSHODO

書評 202002

ボクはやっと認知症のことがわかった～自らも認知症になった専門医が、日本人に伝えたい遺言～
長谷川　和夫／猪熊　律子　著
KADOKAWA
これまで何千人もの患者を診てきた認知症の専門医は、認知症になって何を思い、どう感じているのか。自身の半生や生き方、日本の認知症の歴史に触れながら、日本人に伝えたい「遺言」を語る。『読売新聞』連載を加筆し書籍化。

2019:12./ 222p
978-4-04-604499-0
本体 ¥1,300+税

産経新聞 2020/02/01

国立西洋美術館名画の見かた
渡辺　晋輔／陳岡　めぐみ　著
集英社
西洋美術の鑑賞の手引き。国立西洋美術館の現役学芸員が、おもに所蔵品を使って美術史の流れを説明し、また自分の仕事と絡め、学芸員ならではの視点で美術史のさまざまな側面について解説する。

2020:1./ 263p
978-4-08-781684-6
本体 ¥2,100+税

産経新聞 2020/02/02

別れの季節(お鳥見女房　8)
諸田　玲子　著
新潮社
黒船来航に大地震で世情は騒然。でも、あの人がいれば大丈夫。だが、時の流れは別れも連れてくることを珠世は思い知り…。不穏な時代を生き抜く人の知恵と日々の悦びを描く。人気シリーズふたたび。『小説新潮』掲載を書籍化。

2019:11./ 236p
978-4-10-423516-2
本体 ¥1,500+税

産経新聞 2020/02/02

音に聞く
高尾　長良　著
文藝春秋
芸術の都ウィーンへ音楽理論の大家である父を訪ねた姉妹。外界との接触を拒み、内から湧きあがる音楽を汲みだす真名。翻訳家の有智子はその天分を生かすべく心を砕くが…。『文學界』掲載を単行本化。

2019:11./ 141p
978-4-16-391133-5
本体 ¥1,400+税

産経新聞 2020/02/02

40 人の神経科学者に脳のいちばん面白いところを聞いてみた
デイヴィッド・J.リンデン、岩坂　彰　著
河出書房新社
双子は離れて育っても性格が似る、生涯続く脳地図の陣取り合戦、眼は見るべきものを見る、コンピューターは脳になれない…。世界トップクラスの神経科学者たちが、「世の中に向けていちばん語りたいこと」を綴る。

2019:12./ 330p
978-4-309-25403-6
本体 ¥2,100+税

産経新聞 2020/02/02

- ご注文の際には，タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部（課）までお申し付けください。
- 表示価格は 2020 年 3 月時点での税抜価格です。

MARUZEN-YUSHODO
丸善雄松堂株式会社 ［学術情報ソリューション事業部 ライブラリー営業推進部］
〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町 10-10
TEL.03-6367-6137 FAX.03-6367-6207　URL kw.maruzen.co.jp

日本を変えた地味スゴ歴史人物伝
伊藤　純郎　著
高橋書店
あまり知られていないけれど、じつは日本を変えていた「地味スゴ歴史人物」25　人の物語を収録。ほか、各時代がどんな時代だったかを解説し、そこで目立っていた人たちも紹介する。

2019:11./ 191p
978-4-471-10382-8
本体 ¥1,000+税

産経新聞　2020/02/02

野食ハンターの七転八倒日記
茸本　朗　著
平凡社
野外で採取してきた食材を普段の食卓に活用する「野食」をライフワークとする著者が、失敗体験エピソードを紹介しつつ、野食材や食べ方などを紹介する。ウェブメディア『cakes』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

2019:11./ 247p
978-4-582-63224-8
本体 ¥1,400+税

産経新聞　2020/02/02

行列のできる児童相談所～子ども虐待を人任せにしない社会と行動のために～
井上　景　著
北大路書房
虐待から子どもを護るためには何が必要なのか。元児童福祉司の著者が、児童相談所の「裏側」を体験を交えてつぶさに描き出し、子ども虐待という問題の本質に迫る。児童福祉法、児童虐待防止法、用語集などの資料も掲載。

2019:11./ 10p,289p
978-4-7628-3084-6
本体 ¥2,300+税

産経新聞　2020/02/02

26 文字のラブレター
遊泳舎　編
いとう　あつき　著
遊泳舎
江戸末期から明治にかけて流行した都々逸。恋愛にまつわる　60　作品を、現代解釈を交えたイラストとともに紹介する。ほか、都々逸の作り方、作家やアーティストによるオリジナル都々逸も収録。

2019:12./ 158p
978-4-909842-04-6
本体 ¥1,800+税

産経新聞　2020/02/02

女たちのシベリア抑留
小柳　ちひろ　著
文藝春秋
従軍看護婦、電話交換手、民間人…。1000　人近い日本人女性がシベリアに抑留されていた！ 70　年以上の沈黙を破り、捕虜だった女性たちが初めて証言したノンフィクション。NHK BS1 スペシャルをもとに書籍化。

2019:12./ 319p
978-4-16-391143-4
本体 ¥1,700+税

産経新聞　2020/02/02、朝日新聞　2020/02/29

はじまりはたき火～火とくらしてきたわたしたち～
まつむら　ゆりこ、小林　マキ　著
福音館書店
暗い夜を明るく、寒い冬を温かくしてくれる「火」。わたしたちは、ずっと昔から火とともにくらしてきました。火のあるくらしが始まったのは…。限りある資源と、わたしたちのくらしについて考えるきっかけとなる絵本。

2020:1./ 47p
978-4-8340-8533-4
本体 ¥1,400+税

産経新聞　2020/02/07

MARUZEN-YUSHODO

死ぬほど読めて忘れない高速読書
上岡　正明　著
アスコム
1 冊 2 時間かけてじっくり読むより、30 分で 3 回読むほうが、結果覚えている! 高速で読めて、記憶に定着する、脳科学から生まれたさまざまな読書テクニックを紹介する。

2019:8./ 233p
978-4-7762-1052-8
本体 ¥1,400+税

産経新聞 2020/02/08

清明(隠蔽捜査 8)
今野　敏　著
新潮社
神奈川県警刑事部長に着任した異色の警察官僚・竜崎伸也に、警視庁との軋轢、公安と中国の巨大な壁が立ちはだかる。一方、妻の冴子が交通事故を起こしたという一報が…。『小説新潮』連載を単行本化。

2020:1./ 333p
978-4-10-300260-4
本体 ¥1,600+税

産経新聞 2020/02/09

ダムタイプ 1984 2019
河出書房新社
京都を拠点に、建築、美術、デザイン、音楽、ダンスなど異なる表現手段を持つメンバーが参加し、芸術表現の可能性を模索するアーティスト・グループ「ダムタイプ」。その 35 年におよぶ活動を写真と日・英 2 か国語で紹介する。

2019:12./ 213p
978-4-309-25647-4
本体 ¥3,000+税

産経新聞 2020/02/09

残心抄～祖父三浦義一とその歌～
三浦　柳　著
PHP研究所
非合法な活動を続けて度々逮捕、拘禁され、「右翼の巨頭」「政界の黒幕」として名が通っていた三浦義一。だが、かつては純粋な文学青年で…。歌人・三浦柳が祖父の真実を描く。

2019:12./ 367p
978-4-569-84527-2
本体 ¥2,500+税

産経新聞 2020/02/09

日本の山ができるまで～五億年の歴史から山の自然を読む～
小泉　武栄　著
エイアンドエフ
様々な年代の地質からなり、地質が異なると山容も植生も変わる日本の山。大陸から分離した後、日本列島では隆起が始まり、火山活動も盛んになった。五億年の歴史を繙き、日本の山の地質・地形と自然ができるまでを俯瞰する。

2020:1./ 215p
978-4-909355-16-4
本体 ¥2,400+税

産経新聞 2020/02/09

活動弁士の映画史～映画伝来からデジタルまで～
高槻　真樹　著
アルタープレス
無声映画全盛期、トーキー到来、トーキーとの長い共存期間、地方への拡散を経て、戦後の無声映画ブーム、ホール上映、そして新世代弁士の台頭…。現代までの弁士たちが活動してきた流れを追う。

2019:12./ 387p
978-4-910080-01-7
本体 ¥2,800+税

産経新聞 2020/02/09

MARUZEN-YUSHODO

徳川ごはん～なにを食べて　どう生きたか。徳川家康から慶喜まで、15　人すべての将軍と徳川ゆかりの人々の「食」と「生」に学ぶ。～
永山久夫　著
mores出版
産経新聞　2020/02/09

2019:1.
978-4-9910934-0-1
本体　¥1,800+税

背高泡立草
古川　真人　著
集英社
草は刈らねばならない。そこに埋もれているのは、納屋だけではないから-。長崎の島に暮らし、時に海から来る者を受け入れてきた一族の、歴史と記憶の物語。『すばる』掲載を単行本化。

産経新聞　2020/02/09、読売新聞　2020/02/09、毎日新聞　2020/02/16、日本経済新聞　2020/02/29

2020:1./ 143p
978-4-08-771710-5
本体　¥1,400+税

medium～霊媒探偵城塚翡翠～
相沢　沙呼　著
講談社
推理作家として難事件を解決してきた香月史郎は、心に傷を負った女性、城塚翡翠と出逢う。彼女は霊媒であり、死者の言葉を伝えることができるが、そこに証拠能力はない。一方、巷では姿なき連続殺人鬼が人々を脅かしていて…。

産経新聞　2020/02/15

2019:9./ 380p
978-4-06-517094-6
本体　¥1,700+税

美意識の値段(集英社新書　1008)
山口　桂　著
集英社
世界的オークション会社クリスティーズ日本法人の社長が、日本美術への想いを通して、アートと共にある生活を提案し、美意識の磨き方とそれをビジネスや人生に活かす視点を示す。

産経新聞　2020/02/15

2020:1./ 206p
978-4-08-721108-5
本体　¥840+税

京都でお買いもん～御つくりおきの楽しみ～
入江　敦彦　著
新潮社
京都人は、ほんとにほしいものは、職人にお願いする。ポットの蓋、パレードの浴衣、鍋敷き、百年使えるトート、理想の椅子…。京都エッセイの名手が、暮らしの楽しみの極意を伝える。Web マガジン『考える人』連載を書籍化。

産経新聞　2020/02/15

2020:1./　238p　図版16p
978-4-10-467505-0
本体　¥1,500+税

ベートーヴェンを聴けば世界史がわかる(文春新書　1191)
片山　杜秀　著
文藝春秋
自作の讃美歌で宗教改革を広めたルター、時代から浮いていた「音楽の父」バッハ、就活で苦しんだモーツァルト、グローバリズムに牙をむいたワーグナー…。大作曲家たちの意外な素顔から、世界史を解き明かす。

産経新聞　2020/02/16

2018:11./ 239p
978-4-16-661191-1
本体　¥800+税

MARUZEN-YUSHODO

風神雷神～Juppiter,Aeolus～<上>
原田　マハ　著
PHP研究所
20××年。京都国立博物館研究員の彩がマカオで目にしたものは「風神雷神」が描かれた西洋絵画と「俵屋宗達」の 4 文字で…。「風神雷神図?風」を軸に繰り広げられる歴史アート小説。『京都新聞』ほか連載を加筆し書籍化。

産経新聞 2020/02/16

2019:10./ 363p
978-4-569-84387-2
本体 ¥1,800+税

風神雷神～Juppiter,Aeolus～<下>
原田　マハ　著
PHP研究所
謎多き琳派の祖・俵屋宗達とバロックの巨匠・カラヴァッジョ。ふたりの魂の化身である「絵」が出会い…。「風神雷神図?風」を軸に繰り広げられる歴史アート小説。『京都新聞』ほか連載を加筆し書籍化。

産経新聞 2020/02/16

2019:10./ 314p
978-4-569-84388-9
本体 ¥1,800+税

ぼくは翻訳についてこう考えています～柴田元幸の意見 100～
柴田　元幸　著
アルク
近現代の英米文学作品を、独自の視点で選び抜いて翻訳している著者が、翻訳についての考え方や自身の翻訳手法について述べたとっておきの 100 の言葉を紹介。本人による「ボケツッコミ」も収録する。

産経新聞 2020/02/16

2020:1./ 238p
978-4-7574-3394-6
本体 ¥1,600+税

悔いなく生きる男の流儀
高橋　三千綱　著
コスミック出版
男が悔いなく生きるためには、ある流儀が必要だ。それは人生のテーマを作ることであり、その思想、行動を恐れないことだ。最後の無頼作家が、男の流儀について語る。『東京スポーツ』連載を単行本化。

産経新聞 2020/02/16

2020:1./ 254p
978-4-7747-9200-2
本体 ¥1,400+税

人は、なぜ他人を許せないのか?
中野　信子　著
アスコム
炎上、不謹慎狩り、不倫叩き、ハラスメント…。世の中に渦巻く「許せない」感情はなぜ生まれるのか? 歪んだ正義感の裏に潜む脳の構造に迫り、心穏やかに生きるためのヒントを提示する。

産経新聞 2020/02/16

2020:1./ 223p
978-4-7762-1026-9
本体 ¥1,200+税

自己免疫疾患の謎
アニータ・コース、ヨルゲン・イェルスター、中村　冬美、羽根　由　著
青土社
13 歳の頃に母を関節リウマチという免疫疾患で亡くしたアニータは、関節リウマチを研究する道へと進む。やがて長年見過ごされてきたリウマチの謎を解き明かし…。身体の不思議とのたたかいの記録。

産経新聞 2020/02/16

2019:11./ 294p
978-4-7917-7231-5
本体 ¥2,400+税

MARUZEN-YUSHODO

国家の行方
西尾　幹二　著
産経新聞出版
自由、平等、平和、民主主義の正義の仮面を?ぐ-。不確定の時代を切り拓く洞察と予言、西尾評論の集大成。1985 年から 2019 年までの『産経新聞』「正論」欄 101 篇と書き下ろしを収録する。

産経新聞 2020/02/16

2020:2./ 383p
978-4-8191-1380-9
本体 ¥1,800+税

かえるの天神さん(日本傑作絵本シリーズ)
日野　十成、斎藤　隆夫　著
福音館書店
優れた学者のミチザネさんは、トキヒラ公の企みにより無実の罪をきせられ、太宰府へ追放されて死んでしまう。無念のミチザネさんは、このままではおさまらず…。「天神さん」の物語を、親しみやすいかえるの姿で楽しめる絵本。

産経新聞 2020/02/16

2020:1./ 39p
978-4-8340-8531-0
本体 ¥2,000+税

甘夏とオリオン
増山　実　著
KADOKAWA
大阪・玉出で、失踪した師匠を待ちながら肩を寄せ合い生き抜く落語一門。駆け出しの落語家・甘夏は、深夜の銭湯で寄席を開催することを思いつく。そこはどこか心に穴を抱える人々が集まる場所となり…。

産経新聞 2020/02/22、読売新聞 2020/02/23

2019:12./ 350p
978-4-04-108912-5
本体 ¥1,600+税

国宝ロストワールド～写真家たちがとらえた文化財の記録～
岡塚　章子、金子　隆一、説田　晃大　著
小学館
明治・大正・昭和に撮影された数ある国宝の中から、すでに失われてしまったもの、形が変わっているものなど、写真史を語るうえでとくに意義のある写真全 33 枚を紹介する。『週刊ニッポンの国宝 100』連載を加筆し書籍化。

産経新聞 2020/02/23

2019:10./ 112p
978-4-09-388722-9
本体 ¥1,600+税

占
木内　昇　著
新潮社
あの人の気持ちが知りたい-。納得のいく答えを求め、占い師を訪ね歩く女の行き着く先は? 揺れ動く女性心理を緻密に描く 7 つの短篇を収録する。『小説新潮』掲載を単行本化。

産経新聞 2020/02/23

2020:1./ 269p
978-4-10-350956-1
本体 ¥1,800+税

天皇がいるから日本は一番幸せな国なのです～世界最古の立憲君主制の国～
倉山　満　著
宝島社
国難を最後に救うのは天皇陛下-。「皇室の存続こそが、日本を守ること」と信じる著者が、世界の国家元首を紹介しながら、皇室にある危機とはどのようなものかを解説し、日本国民は何をしなければならないのかを、世に問う。

産経新聞 2020/02/23

2020:1./ 214p
978-4-299-00037-8
本体 ¥1,300+税

MARUZEN-YUSHODO

大衆の強奪～全体主義政治宣伝の心理学～(叢書パルマコン 01)
セルゲイ・チャコティン、佐藤 卓己 著
創元社
メディア研究・コミュニケーション理論・集団心理学などの基本参考文献として広く認知されているファシスト的公共性を体現した名著を、日本語で初全訳。メディア史家佐藤卓己の解題も収録する。

2019:11./ 310p
978-4-422-20293-8
本体 ¥3,500+税

産経新聞 2020/02/23

世界一のプロゲーマーがやっている努力 2.0
ときど 著
ダイヤモンド社
仕事でも人生でもゲームでも「東大に受かる」努力ではもう勝てない。圧倒的に変化が激しい e スポーツで No.1 になった東大卒のプロ格闘ゲーマーが、変化の激しい世界に対応できる努力の方法論を伝える。

2019:12./ 247p
978-4-478-10831-4
本体 ¥1,500+税

産経新聞 2020/02/23

ODA 幻想～対中国政策の大失態～
古森 義久 著
海竜社
40 年間にわたり、中国に巨額の経済援助を与えてきた日本。この援助は中国にどんな影響を与えたのか。日本にとってどんな利点を生んだのか。主に ODA を取り上げて論考する。

2019:10./ 292p
978-4-7593-1687-2
本体 ¥1,600+税

産経新聞 2020/02/23

16 歳のデモクラシー～受験勉強で身につけるリベラルアーツ～
佐藤 優 著
晶文社
佐藤優と埼玉県立川口北高校の 2 年生が、デモクラシー論の古典であるラインホールド・ニーバー著「光の子と闇の子」をテキストに、ときに英語原文にもあたりながら、民主主義について根源的に考える。著者の特別講義を書籍化。

2020:1./ 289p
978-4-7949-7167-8
本体 ¥1,600+税

産経新聞 2020/02/23

いい我慢～日本で見つけた夢を叶える努力の言葉～
ニコライ・バーグマン 著
あさ出版
「いい我慢」は、夢を叶える、新たな夢を膨らませる、運を運んでくる。言葉も通じない日本で学び、世界で活躍するデンマーク人フラワーアーティストが、日本で成功をつかむ過程で学んだ、大事な働き方を紹介する。

2020:1./ 247p
978-4-86667-188-8
本体 ¥1,400+税

産経新聞 2020/02/23

公文書管理と民主主義～なぜ、公文書は残されなければならないのか～(岩波ブックレット No.1000)
瀬畑 源 著
岩波書店
自衛隊 PKO 日報隠蔽問題、森友学園や加計学園の問題の背景には公文書のずさんな管理がある。関連法の理念や歴史的経緯を簡潔にまとめ、公文書管理と情報公開が民主主義を支える機能であることを分かりやすく伝える。

2019:5./ 63p
978-4-00-271000-6
本体 ¥520+税

朝日新聞 2020/02/01

MARUZEN-YUSHODO

ものがたり日本音楽史(岩波ジュニア新書 909)
徳丸 吉彦 著
岩波書店
素朴な鈴や石の笛に始まり、仏教音楽の伝来、雅楽・能楽・歌舞伎・文楽の誕生と変化、文明開化による西洋音楽の導入、現代邦楽…。はるか縄文の昔から日本で育まれてきた、さまざまな音楽の歴史をたどる。

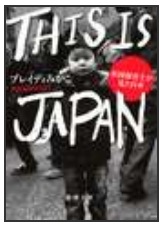
2019:12./
6p,225p,11p
978-4-00-500909-1
本体 ¥940+税

朝日新聞 2020/02/01

「言葉」が暴走する時代の処世術(集英社新書 1001)
太田 光、山極 寿一 著
集英社
いつでも、どこでも、誰とでも?がるからこそ、意思疎通がうまくいかない時代。爆笑問題の太田光と霊長類学者の山極寿一が、「言葉」のあり方を真剣討論する。コミュニケーションに悩む全ての人に贈る処方箋。

2019:12./ 181p
978-4-08-721101-6
本体 ¥780+税

朝日新聞 2020/02/01



THIS IS JAPAN～英国保育士が見た日本～(新潮文庫 ふ-57-1)
ブレイディみかこ 著
新潮社
労働する者のプライド、新自由主義保育と社会主義保育、反貧困ネットワークへのくすぶり、どん底の手前の人々…。20 年ぶりに 1 カ月間日本に滞在した英国在住の保育士による東京の取材記。

2020:1./ 282p
978-4-10-101751-8
本体 ¥590+税

朝日新聞 2020/02/01

ザ・ロイヤルファミリー
早見 和真 著
新潮社
成り上がった男が最後に求めたのは、馬主としての栄光。だが絶対王者が、望みを打ち砕く。誰もが言った。もう無理だ、と。しかし、夢は血とともに子へ継承され…。エンタメ巨編。『小説新潮』連載を単行本化。

2019:10./ 504p
978-4-10-336152-7
本体 ¥2,000+税

朝日新聞 2020/02/01

大平正芳～「戦後保守」とは何か～(中公新書)
福永 文夫 著
中央公論新社
戦後、「保守本流」の道を歩み、1978 年に首相の座に就いた大平正芳は、政界屈指の知性派だった。派閥全盛の時代、自由主義を強く標榜し、田中角栄、福田赳夫らと切磋琢磨した彼の軌跡を辿り、戦後の保守政治の価値を問う。

2008:12./ 300p
978-4-12-101976-9
本体 ¥840+税

朝日新聞 2020/02/01

兵器を買わされる日本(文春新書 1244)
東京新聞社会部 著
文藝春秋
第二次安倍政権誕生後の 7 年間、右肩上がりを続けている日本の防衛費。その多くを占めるのが米国製兵器の購入費や維持費である。官邸主導の兵器購入が進む実態を徹底取材で解明する。『東京新聞』掲載を加筆し新書化。

2019:12./ 255p
978-4-16-661244-4
本体 ¥850+税

朝日新聞 2020/02/01

MARUZEN-YUSHODO

覗くモーテル観察日誌(文春文庫　タ 16-1)
ゲイ・タリーズ　著
文藝春秋
著者に奇妙な手紙が届く。送り主はモーテル経営者で、天井裏から利用者を観察し日誌をつけているという。不倫や同性愛、麻薬取引の絡んだ殺人事件まで、米ノンフィクションを牽引してきた著者と“覗き魔”、その 30 年の記録。

2020:1./ 293p
978-4-16-791432-5
本体 ¥870+税

朝日新聞 2020/02/01

プラグマティズムの歩き方～21 世紀のためのアメリカ哲学案内～<上巻>(現代プラグマティズム叢書 第 1 巻)
シェリル・ミサック、加藤　隆文　著
勁草書房
ニュー・プラグマティズムの旗手による概説書。上巻は、プラグマティズムの揺籃期から、中期にかけての歴史と思想の展開を記述する。

2019:11./ 29p,358p
978-4-326-19978-5
本体 ¥3,800+税

朝日新聞 2020/02/01

プラグマティズムの歩き方～21 世紀のためのアメリカ哲学案内～<下巻>(現代プラグマティズム叢書 第 2 巻)
シェリル・ミサック、加藤　隆文　著
勁草書房
ニュー・プラグマティズムの旗手による概説書。下巻は、論理経験主義の興隆を論述し、20 世紀から現代にかけてのプラグマティズム、21 世紀にふさわしい未来のプラグマティズム思想の展望を描く。

2019:11./
12p,240p,41p
978-4-326-19979-2
本体 ¥3,500+税

朝日新聞 2020/02/01

われらみな食人種(カニバル)～レヴィ=ストロース随想集～
クロード・レヴィ=ストロース、渡辺　公三、泉　克典　著
創元社
レヴィ=ストロースの没後編集の時評集。1989?2000 の文章 16 編と、1952 年発表の「火あぶりにされたサンタクロース」を収録。<未開と文明>の固定観念を鮮やかに破砕する、知的で大胆な評集。

2019:11./ 255p
978-4-422-39001-7
本体 ¥2,000+税

朝日新聞 2020/02/01

ことばの教育を問いなおす～国語・英語の現在と未来～(ちくま新書 1455)
鳥飼　玖美子、苅谷　夏子、苅谷　剛彦　著
筑摩書房
国語・英語という「ことばの教育」には、そもそもどんな意味があるのか。どうやって「ことばの力」を鍛えるのか。国語教育、英語教育の専門家と社会学者がリレー形式で考察する。

2019:12./ 252p
978-4-480-07274-0
本体 ¥840+税

朝日新聞 2020/02/01

真鍋博の植物園と昆虫記(ちくま文庫　ま 47-3)
真鍋　博　著
筑摩書房
人気作家作品の装画や装幀の仕事で知られる天才イラストレーターが、社会のあらゆるものを<植物>と<昆虫>に見立て、ユーモアと風刺を織り込んで描いた 40 年前の幻の作品集を文庫化。各イラストに簡単な文章も掲載。

2020:1./ 339p
978-4-480-43644-3
本体 ¥1,100+税

朝日新聞 2020/02/01

MARUZEN-YUSHODO

できない相談
森　絵都 著
筑摩書房
夫の部屋は掃除しない、余計な金は支払わない、料理は食べきる、サービストークには付き合わない…。ひとがなんと言おうと、わたしはそれを我慢しない。日常の小さな抵抗を描いた小説集。『web ちくま』連載を加筆し書籍化。

朝日新聞 2020/02/01

2019:12./ 220p
978-4-480-80490-7
本体 ¥1,600+税

リブラの野望～破壊者か変革者か～(日経プレミアシリーズ 416)
藤井　彰夫、西村　博之 著
日本経済新聞出版社
フェイスブックが発行を目指すデジタル通貨「リブラ」とは何か? なぜ世界各国の政府や通貨当局は警戒を強めるのか? デジタル通貨のイノベーションがもたらすマネー経済の革命的変化を読み解く。

朝日新聞 2020/02/01

2019:11./ 273p
978-4-532-26416-1
本体 ¥850+税

こいまん<1>(ニチブン・コミックス)
井出　圭亮 著
日本文芸社
朝日新聞 2020/02/01

2019:12.
978-4-537-14184-9
本体 ¥650+税

「走る図書館」が生まれた日～ミス・ティットコムとアメリカで最初の移動図書館車～(評論社の児童図書館・絵本の部屋)
シャーリー・グレン、渋谷　弘子 著
評論社
図書館に来られない人がいるなら、図書館が車で本をとどければいい!「走る図書館」を考えついたアメリカの司書、メアリー・レミスト・ティットコムの生涯と、本にかけた思いを紹介します。

朝日新聞 2020/02/01

2019:12./ 44p
978-4-566-08055-3
本体 ¥2,400+税

ハーレクイン・ロマンス～恋愛小説から読むアメリカ～(平凡社新書 930)
尾崎　俊介 著
平凡社
世界 114 か国で読まれ、恋愛小説の代名詞として知られるハーレクイン・ロマンスは、どう読まれ、書かれてきたのか。ヒロインとヒーローの変遷、フェミニズムとの攻防など、偉大なるマンネリ小説からアメリカ社会を読みとく。

朝日新聞 2020/02/01

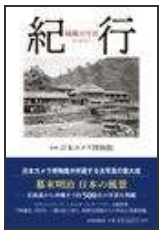
2019:12./ 252p
978-4-582-85930-0
本体 ¥880+税

野生の思考
クロード・レヴィ・ストロース 著
みすず書房
文明社会の思考に野生の思考を対峙させ、戦後思想に革命的転換をもたらした、構造主義の原点。

朝日新聞 2020/02/01

1976:3./ 366p,30p
978-4-622-01972-5
本体 ¥4,800+税

MARUZEN-YUSHODO



紀行(秘蔵古写真)
日本カメラ博物館 著
山川出版社
京都、長崎、函館といった名所旧跡から、何気ない日常の風景まで。日本カメラ博物館が所蔵する約 500 点の秘蔵古写真集で、幕末明治の日本の風景を伝える。スティルフリード、上野彦馬ら初期写真師たちの作品も多数収録。

朝日新聞 2020/02/01

2019:12./ 255p
978-4-634-15158-1
本体 ¥1,800+税

ヴァーチャル社会の<哲学>～ビットコイン・VR・ポストトゥルース～
大黒 岳彦 著
青土社
情報の<価値>とはなにか? アマゾン、ビットコイン、コミュ障、VR…。2010 年代に入り、猛烈な勢いで自己組織化を遂げつつある情報社会の問題構造を体系的に炙り出す。

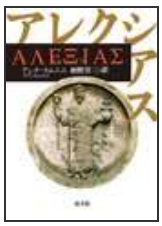
朝日新聞 2020/02/01

2018:12./
10p,383p,50p
978-4-7917-7126-4
本体 ¥3,600+税

ナマハゲを知る事典
稲 雄次 著
柊風舎
秋田県男鹿半島の民俗行事ナマハゲ。仮面を被り仮装をした異形の者たちはなぜ村落を訪れるのか。そして人々に何をもたらすのか。歴史を遡り、行事の細部を解説し、ナマハゲの原初形態を明らかにする。全国の来訪神行事も紹介。

朝日新聞 2020/02/01

2019:12./ 394p,11p
978-4-86498-071-5
本体 ¥8,500+税



アレクシアス
アンナ=コムニニ、相野 洋三 著
悠書館
西洋古代?中世唯一の女性歴史家とされるビザンツ皇帝アレクシオス 1 世の息女、アンナ=コムニニによる大著。異民族、十字軍、反乱…。帝国を滅亡の危機から救い出した父皇帝の姿を克明に描く。詳細な訳注と索引も収録。

朝日新聞 2020/02/01

2019:12./
30p,563p,275p
978-4-86582-040-9
本体 ¥8,000+税

戦場の中世史～中世ヨーロッパの戦争観～
アルド・A.セッティア、白幡 俊輔 著
八坂書房
城攻め、町や村の略奪、野営地での休息…。人々は何のために武器をとり、また戦火の下で何を見つめていたのか。城壁の内外での駆け引きから兵器のディテールまで、中世の戦場の「リアル」な姿を再現する。図版も多数掲載。

朝日新聞 2020/02/01

2019:12./ 422p,51p
978-4-89694-267-5
本体 ¥4,500+税

しんじゅのこ
渡邉 良重、福永 信 著
リトル・モア
わたしのゆめにでてきたの、なに? 答えは真珠。わたしのしょうらいのゆめ、なに? 答えは真珠をつくる。お父さんみたいに…。びわ湖真珠に着想をえた大人向けの絵本。解説冊子「びわ湖真珠ができるまで」付き。

朝日新聞 2020/02/01

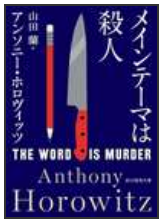
2019:11./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-89815-512-7
本体 ¥1,800+税

MARUZEN-YUSHODO

プラヴィエクとそのほかの時代(東欧の想像力　16)
オルガ・トカルチュク 著
松籟社
ポーランドの南西部、国境地帯にあるとされる架空の村プラヴィエク。そこに暮らす人々の、ささやかな日常が、ポーランドの 20 世紀を映しだすとともに、全世界の摂理を、宇宙的神秘をもかいま見させ…。中東欧文学の傑作。

朝日新聞 2020/02/01、日本経済新聞 2020/02/08

2019:11./ 367p
978-4-87984-383-8
本体 ¥2,600+税



メインテーマは殺人(創元推理文庫　M ホ 15-3)
アンソニー・ホロヴィッツ、山田　蘭 著
東京創元社
自らの葬儀の手配をしたまさにその日、資産家の老婦人は絞殺された。彼女は、自分が殺されると知っていたのか? 作家のわたし、ホロヴィッツは元刑事ホーソーンから、この奇妙な事件を捜査する自分を本にしないかと誘われ…。

朝日新聞 2020/02/01、日本経済新聞 2020/02/15

2019:9./ 487p
978-4-488-26509-0
本体 ¥1,100+税

反穀物の人類史～国家誕生のディープヒストリー～
ジェームズ・C.スコット、立木　勝 著
みすず書房
豊かな採集生活を謳歌した「野蛮人」は、いかにして古代国家に家畜化されたのか? 国家形成における穀物の役割とは? 農業国家による強制の手法とは? 考古学、人類学などの最新成果をもとに、壮大な仮説を提示する。

朝日新聞 2020/02/01、日本経済新聞 2020/02/15

2019:12./
15p,232p,42p
978-4-622-08865-3
本体 ¥3,800+税

エドワード・ホッパー～静寂と距離～
青木　保 著
青土社
ノスタルジーとハードボイルド、サスペンスを想起させつつ、現代人の喪失感・孤独・疎外意識を描くエドワード・ホッパー。その魅力の源泉を大胆自由に探究する意欲的な評論。『NACT review』掲載を加筆し書籍化。

朝日新聞 2020/02/01、毎日新聞 2020/02/02、産経新聞 2020/02/09

2019:11./ 213p,2p
978-4-7917-7234-6
本体 ¥2,400+税

舌を抜かれる女たち
メアリー・ビアード 著
晶文社
メドゥーサ、ピロメラ、ヒラリー・クリントン…。歴史上長らく、女性たちは公の場で語ることを封じられ、発言力のある女性は忌み嫌われてきた。西洋古典と現代を行き来し、女性の声を奪い続けている伝統の輪郭をあぶり出す。

朝日新聞 2020/02/01、毎日新聞 2020/02/09

2020:1./ 132p
978-4-7949-7164-7
本体 ¥1,600+税

治部の礎(講談社文庫　よ 40-7)
吉川　永青 著
講談社
天下人を目指す秀吉のもと、綺羅星の如く登場し活躍する武将たちを差し置いて、最も栄達した男、石田三成。戦国を終わらせ、この国を造る。三成の「義」は誰のためにあったのか-。日本の礎を築いた男を描く歴史長編。

朝日新聞 2020/02/08

2020:1./ 532p
978-4-06-518100-3
本体 ¥940+税

MARUZEN-YUSHODO

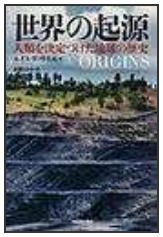
デッドライン
千葉　雅也　著
新潮社
修士論文のデッドラインが迫るなか、大学院生の「僕」は「動物になること」と「女性になること」の線上で煩悶し…。21 世紀初めの東京を舞台にかけがえのない日々を描く、気鋭の哲学者による初小説。『新潮』掲載を単行本化。

朝日新聞 2020/02/08

2019:11./ 161p
978-4-10-352971-2
本体 ¥1,450+税

チョコレートの世界史～近代ヨーロッパが磨き上げた褐色の宝石～(中公新書 2088)
武田　尚子　著
中央公論新社
朝日新聞 2020/02/08

2010:12./ 256p
978-4-12-102088-8
本体 ¥780+税



世界の起源～人類を決定づけた地球の歴史～
ルイス・ダートネル、東郷　えりか　著
河出書房新社
世界の古代文明の多くがなぜ、プレート同士がぶつかる境界で誕生したのか。地球誕生から地質など環境変化の歴史をたどりながら、私たちがなぜ今こうしてここにいるのかを明らかにする。

朝日新聞 2020/02/08

2019:11./ 346p
978-4-309-25402-9
本体 ¥2,400+税

チョコレートの歴史(河出文庫　コ 8-1)
ソフィー・D.コウ、マイケル・D.コウ、樋口　幸子　著
河出書房新社
チョコレートの壮大な 3000 年史。原料カカオの植生と成分から始まり、神々の聖なる食物として香料、薬効、媚薬、滋養などの不思議な力をもつとされたチョコレートの魅力を語り尽くす。各時代のレシピ付き。

朝日新聞 2020/02/08

2017:2./ 380p
978-4-309-46436-7
本体 ¥1,300+税

南北アメリカ・スペイン語辞典
三好　準之助　著
大学書林
スペイン系アメリカという大きな領域で使用されているアメリカ・スペイン語に特徴的な単語を集めた辞典。各見出し語について、品詞、語義のほか、使用地域、アメリカ・スペイン語となる特徴などを記載する。

朝日新聞 2020/02/08

2020:1./ 16p,2168p
978-4-475-00170-0
本体 ¥80,000+税

世界哲学史<1>　古代(ちくま新書　1460)
伊藤　邦武／山内　志朗／中島　隆博／納富　信留　編
筑摩書房
古代から現代まで世界哲学史を一望する。1 は、哲学が成立した古代の最初期を扱い、人類が文明の始まりにおいて世界と魂をどう考えたのかを探究。古代オリエントから中国、インド、ギリシアまで、世界哲学の起源を探究する。

朝日新聞 2020/02/08

2020:1./ 297p,17p
978-4-480-07291-7
本体 ¥940+税

MARUZEN-YUSHODO

7 つの階級～英国階級調査報告～
マイク・サヴィジ、船山　むつみ　著
東洋経済新報社
ホワイトカラー/ブルーカラー、中流/労働者、こんな分類はもう古い！ 経済資本・文化資本・社会関係資本の 3 つの資本を組み合わせて階級を捉える新しい階級分類により、現在のイギリス社会における階級格差を明らかにする。

2019:11./
6p,384p,24p
978-4-492-22385-7
本体 ¥2,800+税

朝日新聞 2020/02/08

図説デザートの歴史
ジェリ・クィンジオ　著
原書房
食事の最後の甘い至福、デザート。その歴史は意外に短い。香辛料との深い関係、デザート誕生の背景、産業革命とデザートの進化など、デザートの奥深い歴史を楽しいエピソードと共に紹介する。カラー図版も多数収録。

2020:1./ 292p
978-4-562-05722-1
本体 ¥2,800+税

朝日新聞 2020/02/08

白村江(PHP 文芸文庫　あ 17-1)
荒山　徹　著
PHP研究所
悲劇の王子が運命に抗う時、歴史が変わる-。大化の改新、揺れる朝鮮半島、そして白村江の戦い…。果たして真の勝者は誰だったのか。激動の東アジア史を大胆に描いた長編小説。

2020:1./ 521p
978-4-569-76982-0
本体 ¥940+税

朝日新聞 2020/02/08

鳳凰の船(双葉文庫　う-15-05)
浮穴　みみ　著
双葉社
洋式帆船造りの名匠・豊治は、ある不運から船大工の職を離れ、仏壇師として 20 年余りを過ごしていたが…。表題作をはじめ、明治初期の函館を舞台に、人々の心情を細やかに描きあげた全 5 編を収録。

2020:1./ 308p
978-4-575-66980-0
本体 ¥640+税

朝日新聞 2020/02/08

黒武御神火御殿～三島屋変調百物語六之続～(三島屋変調百物語　6)
宮部みゆき　著
毎日新聞出版
おちかに代わり、新たな聞き手は富次郎。再会した友が、一家離散の怖ろしい真相を語り始め…。心揺さぶる江戸怪談が、新章に突入。全 4 話を収録する。『毎日新聞』連載を単行本化。

2019:12./ 569p
978-4-620-10845-2
本体 ¥1,800+税

朝日新聞 2020/02/08

意識と感覚のない世界～実のところ、麻酔科医は何をしているのか～
ヘンリー・ジェイ・プリスビロー、小田嶋　由美子、勝間田　敬弘　著
みすず書房
メスで身体を切り刻まれているあいだ、痛くないのはなぜなのか? 手術のあと、何事もなかったように目を覚ませるのはなぜなのか? 3 万回以上の処置を行ってきた麻酔科医が、麻酔薬の歴史から麻酔科医の日常までを描く。

2019:12./ 4p,215p
978-4-622-08866-0
本体 ¥2,800+税

朝日新聞 2020/02/08

MARUZEN-YUSHODO

子どもたちにしあわせを運ぶチョコレート。～世界から児童労働をなくす方法～
白木　朋子　著
合同出版
チョコレートにかかせないカカオ豆を作るために、たくさんの子どもたちが過酷な労働を強いられている-。2009 年、ACE がカカオの一大産地ガーナで始めた児童労働をなくす「スマイル・ガーナプロジェクト」を紹介する。

2015:2./ 143p
978-4-7726-1112-1
本体 ¥1,400+税

朝日新聞 2020/02/08

世界でいちばん変な虫～珍虫奇虫図鑑～
海野　和男　著
草思社
なぜこんな虫がいるのか-。虫を求めて世界を旅する昆虫写真家が、「強烈な色彩の蝶」から「特別気持ち悪い虫の集団」まで、人間の想像を超えた 230 種のおかしな虫たちを紹介する。

2020:1./ 127p
978-4-7942-2437-8
本体 ¥3,200+税

朝日新聞 2020/02/08

チョコレートの真実
キャロル・オフ　著
英治出版
巨大企業と腐敗した政府、農園経営者らが、児童労働の上に築いたカカオ産業を牛耳っている。今この時も、子どもたちは狙われ、酷使されているのだ。そこに乗り込んだ気鋭の女性ジャーナリストが目にしたものとはー。

2007:8./ 381p
978-4-86276-015-9
本体 ¥1,800+税

朝日新聞 2020/02/08

交通誘導員ヨレヨレ日記～当年 73 歳、本日も炎天下、朝っぱらから現場に立ちます～
柏　耕一　著
フォレスト出版
「誰でもなれる」「最底辺の職業」と警備員自身が自嘲する交通誘導員の実態とは? 73 歳を迎える現在も交通誘導員として日々現場に立つ著者が自身の経験を基に、その悲哀と笑いを日記形式で描きだす。

2019:7./ 207p
978-4-86680-904-5
本体 ¥1,300+税

朝日新聞 2020/02/08

私たちが、地球に住めなくなる前に～宇宙物理学者から見た人類の未来～
マーティン・リース、塩原　通緒　著
作品社
人類滅亡を前にして科学は何ができるのか? 宇宙物理学の世界的権威が、バイオ、AI などの飛躍的進歩に目を配り、人類が地球外へ移住する可能性にまで話題を展開しながら、地球と人類の未来、私たちがとるべき道を提示する。

2019:11./ 243p,10p
978-4-86182-777-8
本体 ¥2,200+税

朝日新聞 2020/02/08、東京・中日新聞 2020/02/09

マトリ～厚労省麻薬取締官～(新潮新書　847)
瀬戸　晴海　著
新潮社
激増する薬物犯罪に敢然と立ち向かう厚生労働省の麻薬取締官、通称「マトリ」。違法薬物の摘発、密輸組織との熾烈な攻防…。元麻薬取締部部長が、薬物事犯と捜査のすべてを明かす。『新潮 45』連載を書籍化。

2020:1./ 263p
978-4-10-610847-1
本体 ¥820+税

朝日新聞 2020/02/08、日本経済新聞 2020/02/08、読売新聞 2020/02/23

MARUZEN-YUSHODO

抵抗都市
佐々木　譲 著
集英社
大正 5 年、ロシア統治下の東京で身元不明の変死体が発見された。特務巡査・新堂たちは捜査を開始するが…。日露戦争に「負けた」日本を舞台に描く、歴史改変警察小説。『小説すばる』連載を加筆・修正し単行本化。

朝日新聞 2020/02/09

2019:12./ 476p
978-4-08-771690-0
本体 ¥2,000+税

機巧のイヴ　帝都浪漫篇(新潮文庫　い-130-3)
乾　緑郎 著
新潮社
1918 年。美しき機巧人形・伊武は、女学校の友人・ナオミとともに訪れた猫地蔵坂ホテルで、ある男と運命の出会いを果たす。恋の始まりを予感したそのとき、日常を引き裂く大地震が襲い…。『yom yom』連載を文庫化。

朝日新聞 2020/02/09

2020:2./ 478p
978-4-10-120793-3
本体 ¥750+税

戦争獣戦争(創元日本 SF 叢書 14)
山田　正紀 著
東京創元社
北朝鮮の使用済み核燃料保管施設の貯蔵プールで、謎めいた生物が泳ぐ様が確認された。それは戦争によって増大するエントロピーを喰らう四次元高時空域座標の存在<戦争獣>で…。書き下ろし SF 巨編。

朝日新聞 2020/02/09

2019:10./ 408p
978-4-488-01837-5
本体 ¥2,200+税

茶匠と探偵(The Universe of Xuya Collection #1)
アリエット・ド・ボダール、大島　豊 著
竹書房
深宇宙で起きた事件に麻薬中毒の探偵と宇宙船がコンビを組んで挑む…。ネビュラ賞を受賞した表題作ほか、ローカス賞、英国 SF 協会賞受賞作を含む「シュヤ(Xuya)」宇宙を舞台にした作品、全 9 篇を収録した短篇集。

朝日新聞 2020/02/09、朝日新聞 2020/02/15

2019:11./ 407p
978-4-8019-2038-5
本体 ¥2,900+税

本日の高座～演芸写真家が見つめる現在と未来～<<この芸を見よ　いまの名人、未来の看板より改題>>
橘蓮二 著
講談社
何千年、何万年もの時を経て星の光が届くように、演芸界の新星たちは、きょうの、そして未来のお客様の心に届けと、光を放ち続けている-。これからの落語界、演芸界を担う数多くの若手芸人を写し撮り、想いを添えた写真集。

朝日新聞 2020/02/15

2018:5./ 253p
978-4-06-511993-8
本体 ¥1,600+税

Shrink～精神科医ヨワイ～<1>(ヤングジャンプコミックス)
月子、七海　仁 著
集英社
悩んでいても"精神科は特別なところ"という思いこみが、人々の足を遠のかせてしまう…精神科医・弱井は、そんな日本の現状を変えていき、一人でも多くの“心"を救うべく、こう願う―「僕はこの国に、もっと精神病患者が増えればいいと思っています」

朝日新聞 2020/02/15

2020:1./ 192p
978-4-08-891421-3
本体 ¥600+税

MARUZEN-YUSHODO

MINIATURE TRIP IN JAPAN
田中　達也　著
小学館
ミニチュア写真家・田中達也の、身近な日用品を全く別の何かに見立てたユーモアたっぷりの作品集。日本らしさを感じさせる風景や物、食べ物をセレクトし、日本語と英語で解説する。

朝日新聞 2020/02/15

2019:11./ 119p
978-4-09-682318-7
本体 ¥1,800+税

興行師列伝～愛と裏切りの近代芸能史～(新潮新書　845)
笹山　敬輔　著
新潮社
情熱と野望で大衆芸能の発展に貢献した、松竹・吉本・大映・東宝の創業者たち。近代日本を代表する 5 人の大興行師の波瀾万丈の人生やライバルとの仁義なき戦いを、膨大な資料からドラマチックに描く。

朝日新聞 2020/02/15

2020:1./ 271p
978-4-10-610845-7
本体 ¥820+税

スマホの中身も「遺品」です～デジタル相続入門～(中公新書ラクレ　675)
古田　雄介　著
中央公論新社
故人のスマホやパソコンなどに遺される「デジタル遺品」が、相続の場で問題化し始めている。SNS、ネット銀行、生体認証、サブスクリプションサービスの浸透を前に、私たちはどう対応し、準備すべきかを伝える。

朝日新聞 2020/02/15

2020:1./ 220p
978-4-12-150675-7
本体 ¥880+税

講談落語今昔譚(ワイド版東洋文庫　652)
関根　黙庵　著
平凡社
朝日新聞 2020/02/15

2009:9.
978-4-256-80652-4
本体 ¥3,800+税

神田松之丞講談入門
神田　松之丞　著
河出書房新社
落語と講談の違いは? 初心者におすすめの講談は? “未来の大看板”神田松之丞が、講談の基本知識を Q&A で紹介。松之丞の全持ちネタ解説、人間国宝・一龍斎貞水に学ぶ講談の歴史等も収録する。ジャケット裏面に写真あり。

朝日新聞 2020/02/15

2018:7./ 287p 図版16p
978-4-309-27958-9
本体 ¥1,750+税

八本脚の蝶(河出文庫　に 12-1)
二階堂　奥歯　著
河出書房新社
目覚めなさい。現実から目覚め、「私」から目覚めなさい。もっと深く夢見たいのなら-。才智と魅力あふれる 25 歳の女性編集者が、自らこの世を去るまでの約 2 年間の日記と、作家や恋人など生前近しかった 13 人の文章を収録。

朝日新聞 2020/02/15

2020:2./ 601p
978-4-309-41733-2
本体 ¥1,200+税

アイロニーはなぜ伝わるのか?(光文社新書　1044)
木原　善彦　著
光文社
アイロニーは「皮肉」よりも幅広いカテゴリーの修辞的表現。「言いたいことの逆を言う」アイロニーがどうして相手に伝わるのかという問題を考え、現実を相対化するための、知的な「武器としてのアイロニー」の可能性も示す。

朝日新聞 2020/02/15

2020:1./ 218p
978-4-334-04454-1
本体 ¥780+税

三酔人経綸問答(光文社古典新訳文庫　KB ナ 1-1)
中江　兆民　著
光文社
自由平等・絶対平和の追求を主張する洋学紳士君と軍備拡張で対外侵略を、と激する豪傑君に対し、南海先生の持論は 2 人に「陳腐」と思われて…。自らの真意を絶妙な距離感で「思想劇」に仕立てた中江兆民の代表作。

朝日新聞 2020/02/15

2014:3./ 312p
978-4-334-75286-6
本体 ¥1,040+税

独居老人スタイル(ちくま文庫　つ 9-9)
都築　響一　著
筑摩書房
あえて独居老人でいること。それは老いていくこの国で生きのびるための、きわめて有効なスタイルかもしれない-。16 人の魅力的な独居老人たちを取材・紹介する。ヌード写真あり。

朝日新聞 2020/02/15

2019:12./ 412p 図版 32p
978-4-480-43626-9
本体 ¥1,000+税

ダブル～短篇集～<SIDE A>
パク　ミンギュ、斎藤　真理子　著
筑摩書房
韓国を代表する人気実力派作家の短篇集。SIDE A は、「黄色い河に一そうの舟」「深」など、奇想天外な SF、現実的で抒情的な作品など全 9 篇を収録する。「SIDE B」も同時刊行。

朝日新聞 2020/02/15

2019:11./ 300p
978-4-480-83212-2
本体 ¥1,700+税

ダブル～短篇集～<SIDE B>
パク　ミンギュ、斎藤　真理子　著
筑摩書房
韓国を代表する人気実力派作家の短篇集。SIDE B は、「昼寝」「ルディ」「星」など、ユーモラスなホラー、詩情溢れる美しい作品、青春小説など全 8 篇を収録する。「SIDE A」も同時刊行。

朝日新聞 2020/02/15

2019:11./ 280p
978-4-480-83213-9
本体 ¥1,700+税

旅の効用～人はなぜ移動するのか～
ペール・アンデション　著
草思社
不機嫌という病を治すには、自分の安全領域から外に飛び出すことだ-。世界を旅したスウェーデンのジャーナリストが「人が旅に出る理由」を重層的に考察した、味わい深い旅論。読めば放浪したくなる旅行記 22 点も紹介する。

朝日新聞 2020/02/15

2020:1./ 351p
978-4-7942-2436-1
本体 ¥2,200+税

MARUZEN-YUSHODO

カメの甲羅はあばら骨～人体で表す動物図鑑～(SB ビジュアル新書　0015)
川崎　悟司 著
SBクリエイティブ
カメ、カエル、ゾウ、キリン、クジラ、ペンギン…。動物の体の一部をヒトの体で表現したイラストで、23 種の動物たちの構造・進化の真実を学べる全く新しい動物図鑑。人間と動物たちの部位別比較も掲載。

2019:12./ 191p
978-4-8156-0412-7
本体 ¥1,000+税

朝日新聞 2020/02/15

LOONSHOTS～クレイジーを最高のイノベーションにする～
サフィ・バーコール 著
日経BP社
企業戦略、新薬開発から戦争、社会問題まで、世界を覆す究極のしくみ「ルーンショット」。“普通の組織”を、周囲からクレイジーだと否定される(実は革新的な)アイデアを生む組織に変える方法を科学する。

2020:1./ 502p
978-4-8222-8863-1
本体 ¥2,000+税

朝日新聞 2020/02/15

心を支えるシェイクスピアの言葉
河合　祥一郎 著
あさ出版
人生は短い。その短い人生も下劣に生きれば長すぎる-。心に残る名文句が多数あるシェイクスピア作品。その全 40 戯曲とソネット集から 110 の言葉を選び出し、ひとつずつ丁寧に解説。全 40 戯曲のあらすじも収録する。

2020:1./ 302p
978-4-86667-179-6
本体 ¥1,600+税

朝日新聞 2020/02/15

ちいさな大きなたからもの～特別養子縁組からはじまる家族のカタチ～
瀬奈　じゅん、千田　真司 著
方丈社
一緒に暮らす時間の中で、私たちはゆっくり家族になってゆく-。不妊治療の辛い日々を乗り越え、特別養子縁組で生後 5 日の子どもを迎えた夫婦の葛藤と喜びの日々を綴った、ノンフィクション・エッセイ。

2019:12./ 189p
978-4-908925-56-6
本体 ¥1,400+税

朝日新聞 2020/02/15

星と祭
井上　靖 著
能美舎
琵琶湖の遭難事故で娘を失った架山。その死を受け入れられない架山は、娘とともに死んだ青年の父親・大三浦に誘われ、十一面観音に出会い…。2 人の父親を通して「愛する者の弔い方」を描いた長編小説。

2019:10./ 633p
978-4-909623-02-7
本体 ¥2,300+税

朝日新聞 2020/02/15

若い読者に贈る美しい生物学講義～感動する生命のはなし～
更科　功 著
ダイヤモンド社
生物とは何か、生物のシンギュラリティ、動く植物、大きな欠点のある人類の歩き方、遺伝のしくみ、がんは進化する…。最新の知見を、親切に、ユーモアたっぷりに、ロマンティックに語る生物学の講義。

2019:11./ 323p
978-4-478-10830-7
本体 ¥1,600+税

朝日新聞 2020/02/15、読売新聞 2020/02/16

MARUZEN-YUSHODO

大学はもう死んでいる?～トップユニバーシティーからの問題提起～(集英社新書1006)
苅谷　剛彦、吉見　俊哉　著
集英社
なぜ大学改革は失敗するのか? オックスフォード大学教授・苅谷剛彦と東京大学大学院教授・吉見俊哉が、それぞれの大学を比較し、日本のトップレベルの大学が抜け出せずにいる問題の根幹を、対論を通じて浮かび上がらせる。

朝日新聞 2020/02/15、読売新聞 2020/02/23、日本経済新聞 2020/02/29

2020:1./ 283p
978-4-08-721106-1
本体 ¥900+税

<内戦>の世界史
デイヴィッド・アーミテイジ、平田　雅博、阪本　浩、細川　道久　著
岩波書店
「内戦」とは何なのか。何故これほどまで、我々を苛むのか。ハーヴァード大学歴史学部教授が古代ローマ以来の思索を辿り、内戦の意味を明らかにする。歴史認識の転換を迫る、壮大な思想のグローバル・ヒストリー。

朝日新聞 2020/02/15、日本経済新聞 2020/02/22

2019:12./
11p,251p,93p
978-4-00-024181-6
本体 ¥3,200+税

スティグリッツ PROGRESSIVE CAPITALISM(プログレッシブ・キャピタリズム)～中産階級という生き方はまだ死んでいない～
ジョセフ・E.スティグリッツ、山田　美明　著
東洋経済新報社
「上流エリートか、貧困層か」ではなく、万人を豊かにする進歩的資本主義とは? 国富を真に生み出すものが何かを示し、経済を強化しながらその利益を公平に分配するための方策を示す。

朝日新聞 2020/02/15、日本経済新聞 2020/02/22

2019:12./ 358p,112p
978-4-492-31523-1
本体 ¥2,400+税

ルバイヤート(ワイド版岩波文庫)
ウマル・ハイヤーム　著
岩波書店
朝日新聞 2020/02/22

1993:4./ 173p
978-4-00-007095-9
本体 ¥900+税

クラウドガール(朝日文庫　か 69-1)
金原ひとみ　著
朝日新聞出版
刹那にリアルを感じる美しい妹・杏と、規律正しく行動する聡明な姉の理有。二人が共有する、家族をめぐる秘密とは。スピード感と才気あふれる筆致がもたらす衝撃のラスト。

朝日新聞 2020/02/22

2020:2./ 222p
978-4-02-264950-8
本体 ¥640+税

うちの子が結婚しないので(新潮文庫　か-72-3)
垣谷　美雨　著
新潮社
老後の準備を考え始めた千賀子は、28 歳独身で彼氏の気配もないひとり娘の将来が心配になる。千賀子は、親同士が子供の代わりに見合いをする「親婚活」を知り参加することに…。『yom yom』連載を改題して文庫化。

朝日新聞 2020/02/22

2019:4./ 369p
978-4-10-126953-5
本体 ¥630+税

MARUZEN-YUSHODO

奇跡の論文図鑑～ありえないネタを、クリエイティブに!～
NHK「ろんぶ～ん」制作班 著
NHK出版
猫に思い出(エピソード記憶)があるかを検証。高校の科学部が心霊写真のトリックを解明…。ユニークでクリエイティブな論文を取り上げ、執筆者の言葉を元にその愛と情熱をひもとく。NHK E テレ「ろんぶ～ん」を書籍化。

朝日新聞 2020/02/22

2020:1./ 171p
978-4-14-081806-0
本体 ¥1,300+税

無敗の男～中村喜四郎全告白～
常井 健一 著
文藝春秋
ゼネコン汚職で逮捕されるが完全黙秘を貫き、検事をして「男の中の男」と言わしめた伝説の男・中村喜四郎。ムショ帰り後も当選を続け、今も現役の「選挙の鬼」が、25 年の沈黙を破ってすべてを告白する。

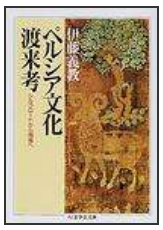
朝日新聞 2020/02/22

2019:12./ 332p
978-4-16-391118-2
本体 ¥1,900+税

かわいい夫(河出文庫 や 17-6)
山崎 ナオコーラ 著
河出書房新社
布で作った結婚指輪。3 回手を振る毎朝の見送り。父との死別。流産。ふたたびの妊娠。さまざまな出来事をとおして、あたらしい結婚の形と、変化していく作家のこころを浮かび上がらせる“愛夫家”エッセイ。

朝日新聞 2020/02/22

2020:2./ 249p
978-4-309-41730-1
本体 ¥820+税



ペルシア文化渡来考(ちくま学芸文庫)
伊藤 義教 著
筑摩書房
朝日新聞 2020/02/22

2001:4./ 247p
978-4-480-08636-5
本体 ¥950+税

文章を彩る表現技法の辞典
中村 明 著
東京堂出版
あの人にこの思いを伝えたい、折々に感じたことを書きとめたい…日々の文章表現に役立つ「読む辞典」。文章に魅力をつける技を、文学作品から選りすぐった実例をもとに、「反復」「省略」「置換」など系統別に紹介する。

朝日新聞 2020/02/22

2020:1./ 8p,302p
978-4-490-10914-6
本体 ¥2,500+税

患者安全への提言～群大病院医療事故調査から学ぶ～(生存科学叢書)
上田 裕一、神谷 惠子、甲斐 由紀子 著
日本評論社
事故調査の目的は、事故の背景となる医療システムの問題点を指摘し予防することにある。群馬大学医学部附属病院医療事故調査委員会の外部委員 6 名がその経験を振り返り、委員会の意義と患者安全の課題についてまとめる。

朝日新聞 2020/02/22

2019:11./ 7p,197p
978-4-535-98488-2
本体 ¥4,300+税

荒れ野の六十年～東アジア世界の歴史地政学～
與那覇　潤　著
勉誠出版
東アジアで共有できる歴史を追い求めたのは、日清戦争の開戦から朝鮮戦争の休戦までの「荒野の六十年」が残した近代の爪痕にすぎなかったのではないか。不毛な論争に終止符を打つ、気鋭の歴史学者による最後の論文集。

朝日新聞 2020/02/22

2020:1./ 21p,363p
978-4-585-22264-4
本体 ¥3,200+税

現代イランの社会と政治～つながる人びとと国家の挑戦～
山岸　智子、吉村　慎太郎　著
明石書店
近現代のイランの社会=政治運動は、国境を越えたネットワーキングに依拠し、国内外の力関係を反映して展開してきた。ネットワーク型社会運動の系譜と、その政治化における諸問題に学際的にアプローチした、6 本の論文を収録。

朝日新聞 2020/02/22

2018:10./ 217p
978-4-7503-4733-2
本体 ¥2,800+税

歴史がおわるまえに
與那覇　潤　著
亜紀書房
往年の偉人ですら「キャラ」になり、国民が共有できる「物語」はすっかり消えたいま、私たちに「歴史」は必要なのだろうか? 気鋭の歴史学者による史論・時事論集。斎藤環、仲正昌樹らとの対談も収録。

朝日新聞 2020/02/22

2019:9./ 387p
978-4-7505-1610-3
本体 ¥1,800+税

テレビ越しの東京史～戦後首都の遠視法～
松山　秀明　著
青土社
戦後日本を生きる人びとが記憶する<東京>のイメージは、いつどのように形成されたのか。膨大なアーカイブから戦後テレビ史を丹念に掘り起こし、そこに見いだされ、演出され、記憶された<東京>なるもののかたちをたどる。

朝日新聞 2020/02/22

2019:11./ 333p,29p
978-4-7917-7232-2
本体 ¥2,600+税

上野新論～変わりゆく街、受け継がれる気質～
五十嵐　泰正　著
せりか書房
特異なまでに都市的な要素や機能が高密度に集積し、異質性の高い人たちが集う街、上野。そのグローバル化のプロセスを、その特異な個別性に根差して論考する。既出の論文を加筆し書籍化。

朝日新聞 2020/02/22

2019:12./ 301p
978-4-7967-0384-0
本体 ¥3,000+税

満洲国のラジオ放送
代　珂　著
論創社
ラジオ放送事業が満洲国でどのように確立、展開されたのか、どのような機能を発揮したのかを、日中双方の資料や文献に基づき検討。満洲国のラジオ放送の実相を明らかにする。

朝日新聞 2020/02/22

2020:1./ 15p,342p
978-4-8460-1823-8
本体 ¥3,000+税

MARUZEN-YUSHODO

俺のアラスカ～伝説の“日本人トラッパー”が語る狩猟生活～
伊藤　精一、すずき　ひさこ　編
伊藤　精一　著
作品社
アラスカの男たちから“最後の本物の罠猟師”として尊敬を集めた伊藤精一。30 年にわたるアラスカの原野での狩猟生活、ハンティングの醍醐味、アラスカの大自然で生きることの想いを語る。1986?98 年の録音を書籍化。

朝日新聞 2020/02/22

2020:1./ 264p
978-4-86182-738-9
本体 ¥2,200+税

英国貴族の城館
増田　彰久　著
河出書房新社
「ダウントン・アビー」撮影の舞台、英国王室ゆかりの館…。イングランド、スコットランドの名館 42 館を厳選し、邸宅の内部から美術品、インテリアまでを美しい写真とともに紹介。豪華絢爛な英国貴族の住まいがわかる一冊。

朝日新聞 2020/02/22、毎日新聞 2020/02/23

2019:12./ 286p
978-4-309-27896-4
本体 ¥15,000+税

鈴木花蓑の百句～写生の鬼～
伊藤敬子／鈴木花蓑　著
ふらんす堂
俳壇において鈴木花蓑が居なかったならば、「ホトトギス」の純粋なる詩的遺産は、日本の文学史上に残し得なかった。その作品の中から百句を取り上げ、魅力を解き明かす。

朝日新聞 2020/02/23、毎日新聞 2020/02/24

2020:2./ 203p
978-4-7814-1257-3
本体 ¥1,500+税

テツコ・プー～ふうせんになったおんなのこ～
児島　なおみ　著
偕成社
いつも機嫌が悪くて、プーッとしているてっちゃんは、テツコ・プーと呼ばれていました。ある朝、プーッとしていたら、あらら、とんでもないことになって…。

朝日新聞 2020/02/29

2020:1./ 32p
978-4-03-332970-3
本体 ¥1,400+税

さくらの谷
富安　陽子　著
偕成社
満開の桜の花にうもれる不思議な谷にまよいこんだわたしは、色とりどりの鬼たちといっしょに、お花見をすることになった。そこにはなつかしい人たちの姿が…。父親を見送った夜に見た、幸せな夢をもとに描いた物語。

朝日新聞 2020/02/29

2020:2./ 32p
978-4-03-333000-6
本体 ¥1,300+税

ゴーストリイ・フォークロア～17 世紀?20 世紀初頭の英国怪異譚～
南條　竹則　著
KADOKAWA
人の死を予言する屍?燭、音声妖怪、魔女の見つけ方…。英国怪談の第一人者であり、古典に精通する著者が、膨大な書物や記録を読み漁り、英国・アイルランドの奇妙な物語を厳選して紹介する。『幽』連載を書籍化。

朝日新聞 2020/02/29

2020:1./ 326p
978-4-04-108326-0
本体 ¥2,800+税

MARUZEN-YUSHODO

超高層のバベル～見田宗介対話集～(講談社選書メチエ 716)
見田 宗介 著
講談社
日本を代表する社会学者、見田宗介の知性の根底には、かけがえのない他者たちとの「対話」があった。河合隼雄、大岡昇平、吉本隆明、石牟礼道子…。著者自身が精選した珠玉の 11 篇を収録した対話集。

朝日新聞 2020/02/29

2019:12./ 308p
978-4-06-518126-3
本体 ¥1,900+税

春、死なん
紗倉 まな 著
講談社
早くに亡くなった父の墓参りに向かったコヨミ。久しぶりに実家に立ち寄ると、そこには母の恋人だという不審な男が…。現役 AV 女優が「老人の性」「母の性」を濃密な文章で描く。『群像』掲載を書籍化。

朝日新聞 2020/02/29

2020:2./ 158p
978-4-06-518599-5
本体 ¥1,400+税

男性の育児休業～社員のニーズ、会社のメリット～(中公新書)
佐藤 博樹、武石 恵美子 著
中央公論新社
朝日新聞 2020/02/29

2004:3./ 190p
978-4-12-101738-3
本体 ¥740+税

ただの眠りを(HAYAKAWA POCKET MYSTERY BOOKS 1951)
ローレンス・オズボーン 著
早川書房
フィリップ・マーロウ、72 歳。私立探偵は 10 年前に引退し、今はメキシコで隠居の身。そんな彼に、溺死したとされる不動産業者が実際に事故で死んだのか確かめて欲しいとの依頼が来て…。新鋭が描く 1988 年のマーロウ譚。

朝日新聞 2020/02/29

2020:1./ 283p
978-4-15-001951-8
本体 ¥1,700+税

ねこと王さま
ニック・シャラット、市田 泉 著
徳間書店
ある日、ドラゴンのせいで、お城がもえてしまった王さまは、いちばんのともだちのねこといっしょに、町へ引っこして、小さな家にくらすことになりました。けれど王さまは、「王さまのしごと」のほかには、何もできなくて…。

朝日新聞 2020/02/29

2019:12./ 166p
978-4-19-865003-2
本体 ¥1,600+税

リボンの男
山崎 ナオコーラ 著
河出書房新社
専業主夫の時給は、いくら? 野川沿いの道を 3 歳のタロウと歩きながら常雄が発見した、新しい“シュフ”の未来とは…。「時給かなりマイナスの男」が目指す、小さな世界の大きな可能性を描く。『文藝』掲載を書籍化。

朝日新聞 2020/02/29

2019:12./ 140p
978-4-309-02852-1
本体 ¥1,350+税

MARUZEN-YUSHODO

逃げる(光文社文庫 な 26-6)
永井するみ 著
光文社
優しい夫と愛しい子供との日々に、突然襲いかかる父との再会。忌まわしい過去とおぞましい父の存在を知られないために、家族を捨て、父と彷徨う生活が始まる。追いつめられた女の苦渋の選択とは。愛と憎しみの長編サスペンス。

2020:2./ 409p
978-4-334-77972-6
本体 ¥820+税

朝日新聞 2020/02/29

「大東亜」を建設する～帝国日本の技術とイデオロギー～
アーロン・S.モーア、塚原 東吾 著
人文書院
戦時下において「技術」に希望を託し、合理的な統治と動員体制を築こうとした革新官僚と技術者たち。彼らの動向を中心に、満州と中国における巨大建設プロジェクトを詳細に分析し、「大東亜」建設の実相に新たな視角から迫る。

2019:12./ 367p
978-4-409-52080-2
本体 ¥4,500+税

朝日新聞 2020/02/29

僕たちは育児のモヤモヤをもっと語っていいと思う
常見 陽平 著
自由国民社
大学で教員をしつつ評論家として活動する著者が、育児や家事に関わる主夫として、これから男性がどのように生きるべきかや、夫婦のあり方について問題提起する。マンガ家・宮川サトシとの対談も収録。

2019:8./ 191p
978-4-426-12547-9
本体 ¥1,200+税

朝日新聞 2020/02/29

男コピーライター、育休をとる。
魚返 洋平 著
大和書房
育休って男は何をするの? 「甲斐」みたいなものはあるの? 給付金だけじゃ苦しくない? 復職したあとに自分を待ち受けているものは? 育児休業をとった会社員が語るリアルな言葉。『ウェブ電通報』連載を加筆し書籍化。

2019:1./ 229p
978-4-479-39318-4
本体 ¥1,500+税

朝日新聞 2020/02/29

室町の覇者足利義満～朝廷と幕府はいかに統一されたか～(ちくま新書 1471)
桃崎 有一郎 著
筑摩書房
狡猾で破天荒で遊び心にあふれ、日本を 60 年の分断から救った恐怖の王者、足利義満。朝廷と幕府両方の頂点に立つ「室町殿」という新たな地位を生み出し、中世最大の実権を握った義満を中心に、足利氏最盛期の核心を描き出す。

2020:1./ 350p
978-4-480-07279-5
本体 ¥1,000+税

朝日新聞 2020/02/29

巴里マカロンの謎(創元推理文庫 M よ 1-11)
米澤 穂信 著
東京創元社
その店のティー&マカロンセットで注文できるマカロンは 3 種類。しかし小佐内さんの皿には、あるはずのない 4 つ目のマカロンが乗っていた。小鳩君は早速思考を巡らし始め…。『ミステリーズ!』掲載に書き下ろしを加え文庫化。

2020:1./ 297p
978-4-488-45111-0
本体 ¥620+税

朝日新聞 2020/02/29

MARUZEN-YUSHODO

むかしむかしあるところに、死体がありました。
青柳　碧人　著
双葉社
お姫様を鬼から守った一寸法師。打ち出の小槌で大きくなった彼は、ある計画を心に秘めていて…。「一寸法師の不在証明」をはじめ、日本の昔ばなしを、密室などミステリのテーマで読み解く作品集。『小説推理』掲載を書籍化。

2019:4./ 243p
978-4-575-24166-2
本体 ¥1,300+税

朝日新聞 2020/02/29

魔女の組曲<上>(ハーパーBOOKS M・ミ1・5)
ベルナール・ミニエ　著
ハーパーコリンズ・ジャパン
ラジオパーソナリティーのクリスティーヌに届いた 1 通の自殺予告。その日から彼女は何者かの悪意に運命を狂わされていく。誰が何の目的で彼女を追いつめるのか。同じ頃、休職中の警部セルヴァズにも差出人不明の小包が届き…。

2020:1./ 462p
978-4-596-54129-1
本体 ¥1,000+税

朝日新聞 2020/02/29

魔女の組曲<下>(ハーパーBOOKS M・ミ1・6)
ベルナール・ミニエ　著
ハーパーコリンズ・ジャパン
セルヴァズに届いた高級ホテルのルームキー。その部屋では 1 年前、女性写真家が壮絶な自死を遂げていた。調査に着手すると、ある地元名士の存在に行きついた。やがて他にも同じ人物に人生を壊された女性がいたことが判明し…。

2020:1./ 463p
978-4-596-54130-7
本体 ¥1,000+税

朝日新聞 2020/02/29

中国思想基本用語集
湯浅　邦弘　編
ミネルヴァ書房
中国思想への第一歩を踏み出そうとする人たちに向けた基本用語集。時代順・テーマ別に「儒教」「諸子百家」「仏教・道教」といった 6 つの章に大別し、各章ごとに主要な人物、文献、事項を 1 項目 400 字程度で解説する。

2020:2./
15p,341p,23p
978-4-623-08736-5
本体 ¥2,500+税

朝日新聞 2020/02/29

火山はめざめる(科学シリーズ)
はぎわら　ふぐ、早川　由紀夫　著
福音館書店
日本を代表する火山、浅間山。昭和時代、江戸時代、平安時代、2 万 5000 年前の 4 つの時代に実際に起こった浅間山の噴火の様子を、地質学や歴史学の視点も取り入れて、当時の生活風景とともに描く。

2019:6./ 40p
978-4-8340-8464-1
本体 ¥1,500+税

朝日新聞 2020/02/29

いのちを刻む～鉛筆画の鬼才、木下晋自伝～
木下　晋、城島　徹　著
藤原書店
人間存在の意味とは何か、私はなぜ生きるか。ハンセン病元患者、瞽女…。彼らを描くモノクロームの鉛筆画の徹底したリアリズムから人間への愛が溢れ出す。鉛筆画の世界を切り拓いてきた画家が、少年時代から現在までを語る。

2019:12./ 297p 図版 16p
978-4-86578-253-0
本体 ¥2,700+税

朝日新聞 2020/02/29

韓国が嫌いで
チャン　ガンミョン、吉良　佳奈江　著
ころから
韓国社会が押しつけてくる生きづらさに、屈するものかともがいて国外脱出する韓国人女性ケナ。留学生としてオーストラリアに渡るが…。韓国の男性作家によるフェミニズム小説。

朝日新聞 2020/02/29

2020:1./ 158p
978-4-907239-46-6
本体 ¥1,800+税

大名倒産<上>
浅田　次郎　著
文藝春秋
泰平の世に積もりに積もった大借金に嫌気のさした先代は、縁の薄い末息子に腹を切らせて御家幕引きを謀る。そうとは知らぬ若殿に次々と難題が降りかかり…。『文藝春秋』連載を書籍化。

東京・中日新聞 2020/02/02

2019:12./ 351p
978-4-16-391139-7
本体 ¥1,600+税

大名倒産<下>
浅田　次郎　著
文藝春秋
若殿は倒産阻止を決意するが、家臣共々の努力も焼け石に水。伝家の宝刀「お断り」で借金帳消しの不名誉を被るしかないのか。万策尽きた若殿に、七福神も手助けをし…。『文藝春秋』連載を書籍化。

東京・中日新聞 2020/02/02

2019:12./ 348p
978-4-16-391140-3
本体 ¥1,600+税

南仏プロヴァンスの 25 年～あのころと今～
ピーター・メイル、池　央耿　著
河出書房新社
生きる歓び、エピキュリアンの幸福-。英国人作家が見出し、世界中が魅了された「豊かで美味しい」南仏プロヴァンス。あのころと今、25 年を振り返ったピーター・メイルの遺作。

東京・中日新聞 2020/02/02

2019:11./ 190p
978-4-309-20788-9
本体 ¥1,700+税

アルジェリア、シャラ通りの小さな書店
カウテル・アディミ、平田　紀之　著
作品社
1930 年代半ばにアルジェに書店兼出版社を開き、以後 30 年以上にわたりアルベール・カミュや多くの優れた文学書を世に出した実在の伝説的出版人の波乱に満ちた半生を描く。ゴンクール賞、ルノドー賞候補作。

東京・中日新聞 2020/02/02

2019:11./ 237p
978-4-86182-784-6
本体 ¥2,200+税

どこからお話ししましょうか～柳家小三治自伝～
柳家　小三治　著
岩波書店
人情の機微を描き出す円熟の古典落語、即興の妙が光るマクラ…。噺家・柳家小三治が、生い立ち、初恋、入門、修業時代、真打昇進、落語論から、バイク、クラシック音楽、俳句、忘れじの人々まで、すべてをたっぷり語り下ろす。

東京・中日新聞 2020/02/02、産経新聞 2020/02/16、朝日新聞 2020/02/22

2019:12./ 9p,209p
978-4-00-061379-8
本体 ¥1,500+税

MARUZEN-YUSHODO

赤星鉄馬 消えた富豪
与那原 恵 著
中央公論新社
武器商人の父の遺産で日本初の学術財団「啓明会」を設立し、芦ノ湖にアメリカからブラックバスを移入。日本ゴルフの草創期を牽引し、朝鮮半島では広大な牧場を経営…。何も書き残さず姿を消した富豪、赤星鉄馬の一生を追う。

2019:11./ 413p
978-4-12-005244-6
本体 ¥2,500+税

東京・中日新聞 2020/02/09

平蔵の母
逢坂 剛 著
文藝春秋
織物問屋のあるじと母親が料理屋を訪れた。店で倒れた母親は、「本所のテツサブロウに、会わせておくれ」と繰り返し…。鬼平ファンに捧ぐハードボイルド時代小説第 4 弾。『オール讀物』掲載をまとめて単行本化。

2020:1./ 346p
978-4-16-391149-6
本体 ¥1,750+税

東京・中日新聞 2020/02/09

スノーデン独白～消せない記録～
エドワード・スノーデン、山形 浩生 著
河出書房新社
何が彼を 2013 年の<暴露>にいたる決断へと迫らせたのか? アメリカ政府による秘密の<大量監視システム>の存在を暴露したエドワード・スノーデン。最強の諜報組織 NSA と CIA を敵に回した男の回顧録。

2019:12./ 376p
978-4-309-22786-3
本体 ¥1,900+税

東京・中日新聞 2020/02/09、日本経済新聞 2020/02/15

大学改革の迷走(ちくま新書 1451)
佐藤 郁哉 著
筑摩書房
危機に瀕していると言われている大学。80 年代以降の改革案から遡り、それらの理不尽、不可解な政策がなぜまかりとおったのか、大学側はなぜそれを受け入れたのかを詳細に分析。大学改革を阻む真の「悪者」の姿に迫る。

2019:11./ 478p
978-4-480-07263-4
本体 ¥1,200+税

東京・中日新聞 2020/02/16

母と娘はなぜ対立するのか～女性をとりまく家族と社会～
阿古 真理 著
筑摩書房
母と娘の対立はなぜ起こるのか。それは、女性が生きづらい社会のありかたと関係するのではないか。体験をもとに戦後の高度経済成長期から#MeToo までの流れを読み解く。

2019:9./ 254p
978-4-480-86467-3
本体 ¥1,800+税

東京・中日新聞 2020/02/16

箱根のメンタル～箱根駅伝から僕たちが学んだこと～
設楽 悠太、神野 大地、渡辺 康幸、藤田 敦史 著
宝島社
彼らはどのような思いで箱根駅伝を走り、その経験をどう活かしているのか。箱根駅伝を走った 17 人が、「箱根駅伝に勝つために必要なこと」「箱根の特別性」「今だから話せる秘話」などを中心に、それぞれの箱根駅伝を語る。

2019:12./ 271p
978-4-8002-9976-5
本体 ¥1,500+税

東京・中日新聞 2020/02/16

MARUZEN-YUSHODO

香港危機の深層～「逃亡犯条例」改正問題と「一国二制度」のゆくえ～
倉田　明子　編
東京外国語大学出版会
香港で大規模デモが発生・拡散した政治的メカニズムとは? 「一国二制度」は維持可能か? 2047 年問題は? 多様な関連分野の研究者たちが、緊迫する「体制」の危機、その背景にあるものに迫る。

東京・中日新聞 2020/02/16

2019:12./ 389p
978-4-904575-79-6
本体 ¥1,600+税

卍どもえ
辻原　登　著
中央公論新社
甫とちづるはセックスレス夫婦。ある日、ちづるは年下のネイリスト可奈子に誘われて、性愛の関係を結ぶ。さらに甫と旧知の毬子と意気投合したちづるは、可奈子を毬子に紹介し…。『中央公論』連載を書籍化。

東京・中日新聞 2020/02/16、日本経済新聞 2020/02/29

2020:1./ 455p
978-4-12-005258-3
本体 ¥1,800+税

猫君
畠中　恵　著
集英社
20 年生きた猫は、人に化けて言葉を操る妖怪「猫又」になる-。将軍様の庇護のもと、江戸城内の学び舎「猫宿」で修業に励む新米猫又のみかんたち。猫宿の長は、魔王と呼ばれたあの戦国武将で…。『小説すばる』掲載を書籍化。

東京・中日新聞 2020/02/23

2020:1./ 333p
978-4-08-771692-4
本体 ¥1,450+税

知の旅は終わらない～僕が 3 万冊を読み 100 冊を書いて考えてきたこと～(文春新書　1247)
立花　隆　著
文藝春秋
哲学、古代文明、脳科学、司法、音楽、美術、人工知能、神秘思想、宇宙、がん…。「知の巨人」立花隆がむさぼり読んで、書きに書いた膨大な仕事と、思索と行動、その人生を初めて語る。

東京・中日新聞 2020/02/23

2020:1./ 415p
978-4-16-661247-5
本体 ¥950+税

痴漢とはなにか～被害と冤罪をめぐる社会学～
牧野　雅子　著
エトセトラブックス
なぜ性犯罪がカルチャーとなり、どうして冤罪ばかりが語られるのか。戦後から現在までの雑誌や新聞記事を分析し、これまで痴漢がどう捉えられ、社会の意識がどうつくられてきたかを読みとく。

東京・中日新聞 2020/02/23

2019:11./ 253p
978-4-909910-01-1
本体 ¥2,400+税

大きな字で書くこと
加藤　典洋　著
岩波書店
私は誰か。何が、その問いの答えなのか。大きな字で書いてみると、何が書けるのか-。急逝した文芸評論家が遺した、最後のことばをまとめる。『図書』連載を書籍化。

読売新聞 2020/02/02

2019:11./ 8p,149p
978-4-00-061373-6
本体 ¥1,800+税

MARUZEN-YUSHODO

絵で楽しむ江戸のことわざ(角川ソフィア文庫 E110-2)
時田 昌瑞 著
KADOKAWA
「鬼の留守に洗濯」って、何の洗濯なの? 日ごろ不思議に思われることわざも、いざ絵で見てみると思わず納得! 江戸人のエスプリやユーモアあふれることわざを、当時の「ことわざ絵」とともに紹介する。

読売新聞 2020/02/02

2019:12./ 344p
978-4-04-400522-1
本体 ¥1,160+税

No Image

テセウスの船<1>(モーニング KC)
東元 俊哉 著
講談社
1989 年 6 月 24 日、北海道・音臼村の小学校で、児童 16 人を含む 21 人が青酸カリで毒殺された。逮捕されたのは、村の警察官だった佐野文吾。時空を超えて「真実」と対峙する、本格クライムサスペンス、開幕。

読売新聞 2020/02/02

2017:9./ 192p
978-4-06-510310-4
本体 ¥630+税

悩んでも 10 秒～考えすぎず、まず動く!突破型編集者の仕事術～
松田 紀子 著
集英社
人々の内なるニーズをつかむ洞察力、上質なコンテンツを 0 から生む力、インパクトを出すビジュアル構築力…。雑誌『レタスクラブ』を V 字回復させた編集者が、全業界に通じる仕事術を公開。青沼貴子らの描き下ろし漫画も収録。

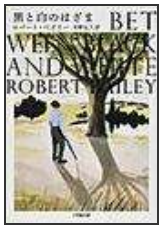
読売新聞 2020/02/02

2019:11./ 215p
978-4-08-788029-8
本体 ¥1,364+税

No Image

遥かな町へ<上>(ビッグコミックススペシャル)
谷口 ジロー 著
小学館
読売新聞 2020/02/02

1998:11./ 198p
978-4-09-183712-7
本体 ¥800+税



黒と白のはざま(小学館文庫 へ 2-2)
ロバート・ベイリー、吉野 弘人 著
小学館
幼い日、クー・クラックス・クランに父親を殺された黒人弁護士が、45 年後の命日に復讐殺人を犯したとして逮捕された。親友の冤罪を晴らすべく、ロースクールの元教授トムが立ち上がり…。「ザ・プロフェッサー」の続編。

読売新聞 2020/02/02

2020:1./ 488p
978-4-09-406734-7
本体 ¥950+税

カンパニー(新潮文庫 い-135-1)
伊吹 有喜 著
新潮社
バレエ団出向を命じられた製薬会社社員と引退危機のダンサー。各々が再起を賭ける公演は難問山積で…。直面する壁と闘う大人たちのブレイクスルー小説。『小説新潮』掲載の珠城りょう&愛希れいか&伊吹有喜の座談会も再録。

読売新聞 2020/02/02

2020:1./ 495p
978-4-10-101731-0
本体 ¥800+税

MARUZEN-YUSHODO

海の地政学～覇権をめぐる 400 年史～(中公新書　2566)
竹田　いさみ　著
中央公論新社
航路や資源、国際的な法制度など多様な論点から、400 年に及ぶ海をめぐる激動の歴史を描き出した書。各国の思惑が交錯し、形作られてきた海洋秩序を前にして、海に囲まれた日本はどう向き合うべきかを考える。

2019:11./ 5p,267p
978-4-12-102566-1
本体 ¥900+税

読売新聞 2020/02/02

一億三千万人のための『論語』教室(河出新書　012)
高橋　源一郎　著
河出書房新社
「学ぶこと」の意味から「善と悪」の問題まで、二千五百年前の「白熱教室」開講! 政治や経済、社会の疑問や、人間関係の悩みなど、生きる上でのあらゆる「問い」に孔子センセイが答える「論語」。高橋源一郎による完全訳。

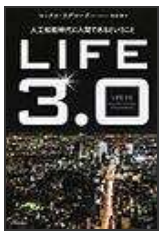
2019:10./ 533p
978-4-309-63112-7
本体 ¥1,200+税

読売新聞 2020/02/02

ちゃぶ台の昭和(らんぷの本)
小泉　和子　編
河出書房新社
裸電球の下の小さなちゃぶ台を家族で囲み、いつもは一汁一菜。貧しかったが、たまのご馳走が楽しみだった。ライスカレー、鉄火味噌、白菜漬け、五目寿司等、記憶の中の昭和の食卓をレシピ付きで再現。ちゃぶ台が語る「昭和」。

2018:8./ 166p
978-4-309-75032-3
本体 ¥1,850+税

読売新聞 2020/02/02



LIFE3.0～人工知能時代に人間であるということ～
マックス・テグマーク、水谷　淳　著
紀伊國屋書店出版部
労働、法律、軍事、倫理から、生命と宇宙、機械の意識まで、超知能 AI が出現したら何が起こるのか。AI 安全性研究を牽引する著者が、来るべき世界の姿と生命の究極の未来を考察する。

2019:12./ 509p
978-4-314-01171-6
本体 ¥2,700+税

読売新聞 2020/02/02

国語教育　混迷する改革(ちくま新書　1468)
紅野　謙介　著
筑摩書房
「論理」と「文学」を分けると何が起きるか。今後の高校教育の方向性を示す大学入学共通テストが扱う実用文・複数資料の構造的な欠陥を、指導要領の解説本や共通テストの試行調査から読み解く。「国語教育の危機」の続編。

2020:1./ 280p
978-4-480-07280-1
本体 ¥880+税

読売新聞 2020/02/02

マツタケ～不確定な時代を生きる術～
アナ・チン、赤嶺　淳　著
みすず書房
マツタケの発生から採取、売買・貿易、食に供されるまでの過程を通して、資本主義の破壊的現実を背景に、人間と人間以外のものの絡まりあいと関係性の諸相を縦横に描く。人間中心主義を相対化した、人類学の書。

2019:9./
14p,441p,24p
978-4-622-08831-8
本体 ¥4,500+税

読売新聞 2020/02/02

MARUZEN-YUSHODO

AI×クリエイティビティ～情報と生命とテクノロジーと。～
河島　茂生、久保田　裕　著
高陵社書店
AI などの最先端テクノロジーと人間との関係を正面から見据え、生命情報と社会情報との連関のもとに唯一無二の存在としてみずからを位置づけ、テクノロジーを使った創造性を考える。漫画家・松本零士らのインタビューも収録。

2019:11./ 111p
978-4-7711-1038-0
本体 ¥1,000+税

読売新聞 2020/02/02

こどもホスピス～限りある小さな命が輝く場所～
田川　尚登　著
新泉社
病児に寄り添い、最期まで支える-。「子どもを“看取る”ためではなく、残された時間を一緒に“豊かに生きる”ために」こどもホスピス設立準備活動に携わる著者が、自らの体験をふまえ、こどもホスピスの必要性を語る。

2019:12./ 205p
978-4-7877-1921-8
本体 ¥1,700+税

読売新聞 2020/02/02

ごろごろ、神戸。
平民金子　著
ぴあ
神戸の町で、今日もごろごろベビーカーを押しながら商店街を歩き、昼酒を呑み、台所で鍋を振る-。異色の街歩き子育てエッセイ。写真も掲載。神戸市広報課のサイト連載をもとに書き下ろしを加えて書籍化。

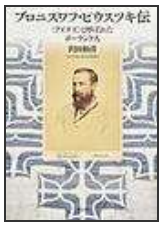
2019:12./ 447p
978-4-8356-3936-9
本体 ¥1,600+税

読売新聞 2020/02/02

渋谷の秘密
三浦　展、隈　研吾、馬場　正尊　著
PARCO出版
消費も娯楽もラブホも大学もあって、高級住宅地も横丁もある。オリンピックがあって各種競技場がある。美術館も劇場も映画も音楽もある。底知れない渋谷の魔力を、隈研吾、馬場正尊、松田法子、大森克己らが徹底分析する。

2019:11./ 283p
978-4-86506-309-7
本体 ¥3,500+税

読売新聞 2020/02/02



ブロニスワフ・ピウスツキ伝～<アイヌ王>と呼ばれたポーランド人～
沢田　和彦　著
成文社
ロシア皇帝暗殺未遂事件に連座してサハリン島に流刑されたピウスツキ。そこで彼はアイヌの調査に従事し、アイヌ女性との間に二児をもうけ、その後訪れた日本で多彩な人々と交流した。過酷な運命を生きた巨人の生涯を描く。

2019:12./ 398p
978-4-86520-040-9
本体 ¥4,000+税

読売新聞 2020/02/02

歌はいきなり上手くなります!～小坂明子の美味しいヴォーカル・メソッド～
小坂　明子　著
言視舎
名曲「あなた」でデビューし、音楽家として歩んできた小坂明子が、自身の軌跡を語りつつ、歌が「いきなり」上手くなるポイントを写真やイラストとともに公開する。動画が見られる QR コード付き。

2019:11./ 93p
978-4-86565-163-8
本体 ¥1,600+税

読売新聞 2020/02/02

MARUZEN-YUSHODO

板観さん～昭和のまち青梅と映画看板師～
キッチンミノル、けやき出版 編
キッチンミノル 著
けやき出版
旧き良き時代を彩り、一度はその歴史が閉じた青梅の映画看板。その風景を紡いだ最後の映画看板師・久保昇、愛称「板観さん」と、青梅のまちの風景を写し撮った写真集。久保昇のインタビューも収録。

読売新聞 2020/02/02

2017:11./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-87751-576-8
本体 ¥1,600+税

もうひとつのモンテレッジォの物語
内田 洋子、モンテレッジォの子供達 著
方丈社
「モンテレッジォ小さな村の旅する本屋の物語」の著者が、モンテレッジォ村の人々との心温まる交流などを豊富なカラー写真とともに綴る。後ろからは、子供達が書いた村の歴史の絵本、子供達の想いとことばを読める両開き本。

読売新聞 2020/02/02

2019:12./ 128p,95p
978-4-908925-55-9
本体 ¥1,500+税

はじめて読む源氏物語
今井 上 編
青島 麻子／東 俊也／金 静熙／金 秀姫／栗本 賀世子／中西 翔／林 悠子／松野 彩／尹 勝?／吉田 幹生／李 宇玲 著
花鳥社
恋と冒険、出会いと別れ…。光源氏の人生をわかりやすく見通せる「源氏物語」入門。選り抜きの名場面や重要な一節を取り上げて鑑賞しながら、物語の大きな流れと読みどころを丁寧に解説する。

読売新聞 2020/02/02

2020:1./ 8p,204p
978-4-909832-15-3
本体 ¥1,800+税

村に火をつけ、白痴になれ～伊藤野枝伝～(岩波現代文庫 文芸 316)
栗原 康 著
岩波書店
「ああ、習俗打破! 習俗打破!」 筆一本を武器に、結婚制度や社会道徳と対決した伊藤野枝。彼女が生涯をかけて燃やそうとしたものは何なのか。気鋭の政治学者が、ほとばしる情熱、躍動する文体でその人間像と思想に迫る。

読売新聞 2020/02/09

2020:1./ 20p,256p
978-4-00-602316-4
本体 ¥1,120+税

大森荘蔵-哲学の見本(講談社学術文庫 2309)
野矢 茂樹 著
講談社
私に他人の痛みがわかるだろうか-。他我問題、知覚、言語と時間など、哲学の根本問題を考え続けた大森荘蔵。彼が著した論文の初期のものから最後に至るまでを辿り、大森哲学の道筋と魅力を余すところなく紹介する。

読売新聞 2020/02/09

2015:7./ 295p
978-4-06-292309-5
本体 ¥1,000+税

山椒大夫・高瀬舟 改版(新潮文庫)
森 鴎外 著
新潮社
読売新聞 2020/02/09

1985:1./ 280p
978-4-10-102005-1
本体 ¥490+税

MARUZEN-YUSHODO

ぼくは勉強ができない(新潮文庫)
山田　詠美　著
新潮社
読売新聞　2020/02/09

1996:3./ 249p
978-4-10-103616-8
本体　¥430+税

BUTTER(新潮文庫　ゆ-14-3)
柚木　麻子　著
新潮社
男たちの財産を奪い、殺害した容疑で逮捕された梶井真奈子。週刊誌記者の町田里佳は、梶井の面会を取り付けるが、欲望に忠実な梶井の言動に触れるたび、里佳の内面も外見も変貌。親友や恋人の運命をも変えていき…。

読売新聞　2020/02/09

2020:2./ 591p
978-4-10-120243-3
本体　¥900+税

母の遺産～新聞小説～<上>(中公文庫　み 46-1)
水村　美苗　著
中央公論新社
80 歳を過ぎた母が骨折をして病院に運び込まれたその日、美津紀は夫・哲夫の引き出しから花柄のティッシュ入れを見つけ…。親の介護、夫の浮気、忍び寄る更年期、老後資金の計算。実体験を交えて描く長篇小説。

読売新聞　2020/02/09

2015:3./ 314p
978-4-12-206088-3
本体　¥700+税

母の遺産～新聞小説～<下>(中公文庫　み 46-2)
水村　美苗　著
中央公論新社
母を見送った美津紀は、ひとり旅に出る。過去を正視し、今後一人で暮らしていけるかを計算する美津紀は、人生の第二幕へ歩み出せるのか…。親の介護、夫の浮気、忍び寄る更年期、老後資金の計算。実体験を交えて描く長篇小説。

読売新聞　2020/02/09

2015:3./ 321p
978-4-12-206089-0
本体　¥700+税

荒潮(新☆ハヤカワ・SF・シリーズ　5046)
陳　楸帆　著
早川書房
シリコン島で、電子ゴミから資源を探し出して暮らす少女、米米。島は代々御三家に支配されてきた。だが、ある会社の環境再生計画により、事態は変化し…。中国 SF の超新星による近未来的科幻長篇。登場人物表付き。

読売新聞　2020/02/09

2020:1./ 349p
978-4-15-335046-5
本体　¥1,800+税

ミスト～短編傑作選～(文春文庫　キ 2-54)
スティーヴン・キング　著
文藝春秋
町を覆った奇妙な濃霧。中に踏み入った者は「何か」に襲われる…。映画化、TV ドラマ化された名作「霧」ほか、初期短編「ジョウント」「ノーナ」など全 5 編を収録。<恐怖の帝王>スティーヴン・キングの真髄を示す傑作選。

読売新聞　2020/02/09

2018:5./ 360p
978-4-16-791076-1
本体　¥860+税

MARUZEN-YUSHODO

最後の楽園～服部まゆみ全短編集～
服部　まゆみ　著
河出書房新社
純真と憎しみ、欲望と献身、恐怖と甘美…。究極のゴシック・ミステリ作家、服部まゆみの全短編集。表題作ほか、「猫の手」「恋する心」「時のかたち」「桜」「骨」「髑髏指南」など 17 編を収録。

2019:11./ 493p
978-4-309-02844-6
本体 ¥3,800+税

読売新聞 2020/02/09

科学を語るとはどういうことか～科学者、哲学者にモノ申す～(河出ブックス　057)
須藤　靖、伊勢田　哲治　著
河出書房新社
科学と哲学はどこですれ違うのか? 科学者ではない者が自然科学について語る「科学哲学」に関して、科学者・須藤靖が不満・疑問を率直に問いただし、哲学者・伊勢田哲治が真摯かつ精緻に応じていった対談集。

2013:6./ 301p
978-4-309-62457-0
本体 ¥1,500+税

読売新聞 2020/02/09

聡乃学習(サトスナワチワザヲナラウ)
小林　聡美　著
幻冬舎
50 代という人生のステージ。無理せずに、興味のあることに飛び込んで、いろいろな学びを得ながら、日々を、軽やかに丁寧に…。くすっと笑えて背筋が伸びるエッセイ集。『papyrus』『小説幻冬』連載を加筆し書籍化。

2019:11./ 213p
978-4-344-03537-9
本体 ¥1,400+税

読売新聞 2020/02/09

ラディカル・マーケット～脱・私有財産の世紀～
エリック・A.ポズナー、E.グレン・ワイル、安田　洋祐、遠藤　真美　著
東洋経済新報社
富裕層による富の独占、膠着した民主主義、巨大企業によるデータ搾取…。若き天才経済学者が、21 世紀初頭の難題を解決する新しいビジョンを示し、資本主義と民主主義の未来を描く。

2019:12./ 476p
978-4-492-31522-4
本体 ¥3,200+税

読売新聞 2020/02/09

日本の外来生物　決定版
多紀　保彦、自然環境研究センター　著
平凡社
外来生物法施行にともない、広く認識されるようになった日本の外来生物のすべてをカラー写真で紹介・解説した図鑑。在来種との区別や防除の方針、海外の事例なども掲載。

2008:4./ 479p
978-4-582-54241-7
本体 ¥3,400+税

読売新聞 2020/02/09

中華民国と文物～国家建設に果たした近代文物事業の役割～(早稲田大学エウプラクシス叢書　018)
張　碧惠　著
早稲田大学出版部
辛亥革命から 1949 年に中華民国が台湾へ退去するまでの期間を対象に、中華民国各政府期の文物に対する認識過程を追う。国家建設において文物が近代文物事業を通じてどのような役割を担ってきたのかを明らかにする。

2019:10./ 5p,322p
978-4-657-19803-7
本体 ¥4,000+税

読売新聞 2020/02/09

MARUZEN-YUSHODO

「かわいい」の世界～ザ・パワー・オブ・キュート～
サイモン・メイ、吉嶺　英美　著
青土社
「キュート」という概念が生まれる前と後では、人びとの意識の何が変容したのか。曖昧で捉えどころがなく、二面性に富む「キュート」の魅力はどこから生まれるのか。人、物、キャラクター、アート作品から考察する。

2019:12./ 237p,5p
978-4-7917-7235-3
本体 ¥2,200+税

読売新聞 2020/02/09

戦場の秘密図書館～シリアに残された希望～
小国綾子　編
マイク・トムソン　著
文溪堂
政府軍により完全封鎖され、日々空爆される。それでも人々は「本」を糧に絶望的な状況を生きぬいた！ シリア内戦下、ダラヤの町の地下にできた秘密図書館を守った若者たちのノンフィクション。

2019:12./ 182p
978-4-7999-0251-6
本体 ¥1,500+税

読売新聞 2020/02/09

売春島～「最後の桃源郷」渡鹿野島ルポ～
高木　瑞穂　著
彩図社
“売春島”と呼ばれる三重県の離島、渡鹿野島。島民全ての生活が売春で成り立っているとされる現代ニッポンの桃源郷が、今、消えようとしている。島が凋落した全貌と、売春の実態や人身売買タブーに迫る。

2020:1./ 279p
978-4-8013-0420-8
本体 ¥682+税

読売新聞 2020/02/09

死んだら飛べる(竹書房文庫　き 6-1)
ベヴ・ヴィンセント　編
白石　朗、中村　融　著
竹書房
モンスター、未来からの愉快犯、密室殺人、ゾンビ…。飛行機には、決して統計ではわからない恐怖が待っている。スティーヴン・キング、ジョー・ヒルの書き下ろし作品など本邦初訳 10 篇を含む全 17 編を収録。

2019:9./ 519p
978-4-8019-2011-8
本体 ¥1,400+税

読売新聞 2020/02/09

荷風を盗んだ男～「猪場毅」という波紋～
杉山　淳　編
幻戯書房
永井荷風の偽筆を製作し、「四畳半襖の下張」を売り捌いた「インチキ渡世のイカサマ師」にして、この?末を描いた荷風の小説「来訪者」の「木場貞」のモデル。猪場毅の生きざまに荷風、佐藤春夫らの視点から迫る資料集。

2019:12./ 349p
978-4-86488-188-3
本体 ¥4,500+税

読売新聞 2020/02/09

MARUZEN-YUSHODO

ねこもかぞく～ほんのり俳句コミック～
堀本　裕樹、ねこまき　著
さくら舎
じんわり、ほっこり。家族の暮らしを詠んだ 88 句と愛らしいねこたち! 家族を詠んだ句に、やさしい解説とマンガを添える。さくら舎ホームページでの連載を加筆・訂正し再構成。

2019:11./ 188p
978-4-86581-221-3
本体 ¥1,400+税

読売新聞 2020/02/09

オノマトペ～擬音語・擬態語の世界～(角川ソフィア文庫 E114-1)
小野　正弘　著
KADOKAWA
「ゴーン」などの擬音語、「ピカピカ」などの擬態語を総じて称する「オノマトペ」。抽象的で単純で幼稚なものと思われているが、実は奥が深い。豊富な例やエピソードから、日本語を深くほりさげる。

2019:12./ 240p
978-4-04-400547-4
本体 ¥880+税

読売新聞 2020/02/09、朝日新聞 2020/02/15

理学博士の本棚(角川新書 K-292)
鎌田　浩毅　著
KADOKAWA
科学者としての視座はどう作られたのか? アラン「幸福論」、手塚治虫「火の鳥」…。メディアで活躍する「科学の伝道師」にして京大人気 No.1 教授が、青春時代に感銘を受けた意外な中古典の名著 12 作品を紹介する。

2020:1./ 310p
978-4-04-082309-6
本体 ¥880+税

読売新聞 2020/02/09、日本経済新聞 2020/02/22

『広辞苑』をよむ(岩波新書 新赤版 1820)
今野　真二　著
岩波書店
使いながら必要以上にいろいろなことを考える。しょっちゅう脱線。それが辞書を「よむ」ということだ-。ことばを愛してやまない日本語学者が、真剣に、マニアックに、「広辞苑」の使い方・遊び方を紹介する。

2019:12./ 6p,253p,7p
978-4-00-431820-0
本体 ¥820+税

読売新聞 2020/02/16

如何様
高山　羽根子　著
朝日新聞出版
復員した画家・平泉貫一は、出征前と同じ人物なのか。似ても似つかぬ姿で帰ってきたものの、男は失踪してしまい…。『小説トリッパー』掲載の表題作ほか、『文学ムックたべるのがおそい』掲載の「ラピード・レチェ」も収録。

2019:12./ 148p
978-4-02-251659-6
本体 ¥1,300+税

読売新聞 2020/02/16

野蛮な詩
中島　丈博　著
角川書店
大地震、大洪水、壮絶な台風…。疎開派と地元派の少年たちの対立と抗争の日々。めざめていく清冽な性。四万十川の異郷に繰り広げられる少年たちの王国。書き下ろし長編小説。

2000:11./ 291p
978-4-04-873264-2
本体 ¥1,600+税

読売新聞 2020/02/16

MARUZEN-YUSHODO

御社のチャラ男
絲山 秋子 著
講談社
チャラ男って本当にどこにでもいるんです。一定の確率で必ず-。社内でひそかにチャラ男と呼ばれている三芳部長。彼のまわりの人びとが彼を語ることで、この世界と私たちの「現実」が見えてきて…。『群像』連載を単行本化。

2020:1./ 317p
978-4-06-517809-6
本体 ¥1,800+税

読売新聞 2020/02/16

四季を詠む～365 日の体感～(集英社文庫 さ 39-5)
三宮 麻由子 著
集英社
紅梅の甘さをたっぷり含んだ香りの「春」、高校 1 年のアメリカ留学前夜の「夏」…。4 歳で視力を失った著者の瑞々しい表現力と感性が光る。音、匂い、手触り、味の四感で、四季を味わうエッセイ集。

2020:1./ 214p
978-4-08-744070-6
本体 ¥560+税

読売新聞 2020/02/16

幼な子の聖戦
木村 友祐 著
集英社
村長選に立候補した同級生・仁吾。選挙妨害を命じられた“おれ”は…。『すばる』掲載の表題作に、高層ビルの窓拭き職人の熱い思いを描いた『文學界』掲載の「天空の絵描きたち」を併録して単行本化。

2020:1./ 219p
978-4-08-771709-9
本体 ¥1,600+税

読売新聞 2020/02/16

何者(新潮文庫 あ-78-1)
朝井 リョウ 著
新潮社
就活の情報交換をきっかけに集まった拓人たち。自分を生き抜くためにほんとうに必要なことは何なのか。この世界を組み変える力はどこから生まれ来るのか。就活大学生の自意識をあぶり出す、リアルで切実な長編小説。

2015:7./ 346p
978-4-10-126931-3
本体 ¥590+税

読売新聞 2020/02/16

さよなら獣(中公文庫 あ 90-1)
朝比奈 あすか 著
中央公論新社
小器用な阿佐、美しい野々花、繊細すぎる咲。クラスで浮いた少女 3 人は、それぞれの痛みを抱え大人になる。不意の再会が 3 人の孤独を変貌させ…。思春期を獣のようなパワーで駆け抜ける少女たちの叫びと孤独が轟く青春小説。

2019:12./ 250p
978-4-12-206809-4
本体 ¥640+税

読売新聞 2020/02/16

なんでわざわざ中年体育(文春文庫 か 32-16)
角田 光代 著
文藝春秋
東京マラソン、高尾山トレイルランニング、ボルダリング、棒ノ折山登山…。「運動なんて大嫌い」な人気作家が果敢に挑戦した爆笑と共感の体験エッセイ 23 編。

2019:10./ 249p
978-4-16-791374-8
本体 ¥620+税

読売新聞 2020/02/16

MARUZEN-YUSHODO

賭博者(光文社古典新訳文庫　KAト1-21)
ドストエフスキー　著
光文社
ドイツの町ルーレッテンブルグ。賭博に魅入られた人々が今日もカジノに集まる。金に群がり、偶然に賭け、運命に嘲笑される人間の末路は? 自伝的色彩の強い後期の中編小説。

2019:12./ 375p
978-4-334-75415-0
本体 ¥900+税

読売新聞 2020/02/16

さらわれた赤ちゃん～児童虐待冤罪被害者たちが再び我が子を抱けるまで～
藤原　一枝　著
幻冬舎メディアコンサルティング
どんな家庭でも起こり得る事故で親が虐待を疑われ、子どもと会えない日々を送るケースが後を絶たない。長年虐待問題を追ってきた医師が、「無実の罪」が生まれた原因を追及し、子どもと引き裂かれた親の悲痛な想いを語る。

2019:12./ 210p
978-4-344-91867-2
本体 ¥1,200+税

読売新聞 2020/02/16

「駅の子」の闘い～戦争孤児たちの埋もれてきた戦後史～(幻冬舎新書　な-26-1)
中村　光博　著
幻冬舎
「駅の子」「浮浪児」などと呼ばれた戦争孤児。飢えと寒さ。物乞いや盗み。戦争が終わってから始まった闘いの日々…。これまで口を閉ざしてきた「駅の子」たちが、初めてその体験を語る。NHK スペシャルを書籍化。

2020:1./ 259p
978-4-344-98582-7
本体 ¥880+税

読売新聞 2020/02/16

危機に立つ東大～入試制度改革をめぐる葛藤と迷走～(ちくま新書　1473)
石井　洋二郎　著
筑摩書房
東大では、秋季入学への移行、英語民間試験の活用等の問題をめぐって目的と手段の逆転した議論が進行し、本来の思考の道筋が失われている。教育・入試制度改革の?末と問題に至った経緯を見直し、大学のあるべき姿を示す。

2020:1./ 241p
978-4-480-07283-2
本体 ¥840+税

読売新聞 2020/02/16

アメリカ大統領選勝負の分かれ目(日経プレミアシリーズ　418)
大石　格　著
日本経済新聞出版社
増大するヒスパニック人口、止められない分断、くすぶり続ける「同性婚」「銃」の問題-。超大国アメリカで今なにが起きているのか。緻密な現地取材から、選挙戦の背景にあるアメリカ社会の地殻変動を描き出す。

2020:1./ 288p
978-4-532-26418-5
本体 ¥900+税

読売新聞 2020/02/16

結婚の奴
能町　みね子　著
平凡社
人生を変えるような恋愛だの結婚だのは無理だが、ひとりは嫌だ-。ゲイの夫(仮)と、恋愛でも友情でもない生活をつくるまでを綴る。『ウェブ平凡』連載を加筆し書籍化。

2019:12./ 244p
978-4-582-83821-3
本体 ¥1,500+税

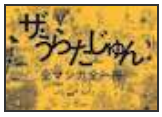
読売新聞 2020/02/16

MARUZEN-YUSHODO

土とワイン～土壌が教える自然ワインと造り手たち～
アリス・ファイアリング、パスカリーヌ・ルペルティエ、小口　高、鹿取　みゆき、村松　静枝 著
エクスナレッジ
どうしたら極上のワインを選べるのか? その秘密は「土」にあった! ワインの味わい方・楽しみ方のコツから基盤岩ごとのブドウとワインの特徴、基盤岩別・世界各地のワイナリー訪問記まで、ワインを深く楽しむ情報が満載。

読売新聞 2020/02/16

2019:12./ 471p
978-4-7678-2651-6
本体 ¥2,400+税



ザ・うらたじゅん～全マンガ全一冊～
うらた じゅん 著
第三書館
不世出の不思議な女性マンガ家、うらたじゅん。「怪奇ラクダ女」「遠い遠い夜の音」など、2019 年 2 月に早世したうらたじゅんの全マンガを収録する。4 コママンガやイラスト集、荒木ゆずるによる解説、年譜も収録。

読売新聞 2020/02/16

2019:12./ 632p
978-4-8074-1999-9
本体 ¥2,800+税

男らしさの終焉
グレイソン・ペリー 著
フィルムアート社
男性が変われば世界全体をより良い場所にできるはず。異性装者でもあるアーティストが、「権力・パフォーマンス・暴力・感情」といった男性性の 4 エリアを検討し、新しい時代のジェンダーとしなやかな男性のあり方を模索する。

読売新聞 2020/02/16

2019:12./ 204p
978-4-8459-1830-0
本体 ¥2,000+税

空ニ吸ハレシ 15 ノココロ～おばあちゃんへのラストレター～
園田　由紀子 著
PHPエディターズ・グループ
施設での暮らしを選んだ祖母の妙子と、高校の寮で生活を始めた孫の理沙。2 人は互いの価値観を交錯させながら、新生活を励まし合い…。往復書簡で描く、ある家族の物語。

読売新聞 2020/02/16

2019:7./ 135p
978-4-909417-29-9
本体 ¥1,300+税

荷風追想(岩波文庫 31-201-3)
多田　蔵人 編
岩波書店
明治・大正・昭和にわたる文豪、永井荷風。近代文学に深い刻印を残した荷風は、時代ごと、場所ごとに様々な面影を残した。荷風と遭遇し、遠くから荷風を慕った同時代人の回想 59 篇を精選し、巨人の風貌を探る。

読売新聞 2020/02/23

2020:1./ 502p
978-4-00-312013-2
本体 ¥1,000+税

出雲神話論
三浦　佑之 著
講談社
なぜ古事記にだけ出雲神話があるのか? 「国譲り神話」と称される「滅びの物語」にはなにが隠されているのか? 出雲の神がみの物語を古事記神話全体の枠組みの中で読み解き、古代の日本列島の世界を明らかにする。

読売新聞 2020/02/23

2019:11./ 661p
978-4-06-517752-5
本体 ¥3,600+税

MARUZEN-YUSHODO

この世にたやすい仕事はない(新潮文庫　つ-34-2)
津村　記久子　著
新潮社
隠しカメラを使った小説家の監視、巡回バスのニッチなアナウンス原稿づくり…。社会という宇宙で心震わすマニアックな仕事を巡りつつ自分の居場所を探す、共感と感動のお仕事小説。

2018:12./ 424p
978-4-10-120142-9
本体 ¥670+税

読売新聞 2020/02/23

秘蔵カラー写真で味わう 60 年前の東京・日本<続>(光文社新書　1041)
J.ウォーリー・ヒギンズ　著
光文社
元祖「カラー撮り鉄」ヒギンズが愛した「昭和 30 年代の日本」の風景。新たに見つかった蔵出しプライベート・フィルムからの傑作も加え、鉄道写真多めの選りすぐり 544 枚を、当時の思い出話とともに公開する。

2019:12./ 510p
978-4-334-04450-3
本体 ¥1,600+税

読売新聞 2020/02/23

野蛮の言説～差別と排除の精神史～(春陽堂ライブラリー　002)
中村隆之　著
春陽堂書店
人類の長い歴史の中には、他者を蔑視し排除する言葉が常に存在していた。コロンブスの新大陸発見から、ナチスのホロコースト、現代日本の差別意識まで、古今東西の著作を紐解き、文明と野蛮の対立を生む人間の精神史を追う。

2020:2./ 349p,5p
978-4-394-19501-6
本体 ¥2,600+税

読売新聞 2020/02/23

幽鬼の塔(江戸川乱歩文庫)
江戸川　乱歩　著
春陽堂書店
素人探偵河津は、挙動不審な男のあとをつける。男と同じ鞄を購入し同じ旅館に泊まった河津は、隙を見て鞄をすりかえた。気づいた男は恐怖をきたし、首を吊ってしまい…。表題作ほか「恐怖王」「悪霊」も収録。

2019:12./ 444p
978-4-394-30175-2
本体 ¥990+税

読売新聞 2020/02/23

エーゲ～永遠回帰の海～(ちくま文庫　た 93-1)
立花　隆　著
筑摩書房
エーゲ海沿岸に点在する無数の遺跡には、西洋文明を理解するための鍵が隠されている…。「知の巨人」がレンタカーで 8000km を駆けめぐり、神と歴史と人間について深い洞察を巡らせた壮大な思索旅行記。カラー写真も満載。

2020:1./ 285p
978-4-480-43642-9
本体 ¥1,000+税

読売新聞 2020/02/23

北岳山小屋物語
樋口　明雄　著
山と渓谷社
小屋開けの苦労、山岳遭難救助の実態、登山道の整備、山小屋生活の日常、食事へのこだわり…。北岳の 5 軒の山小屋の小屋番やスタッフへのインタビューを通じて、山小屋の裏側を描き出す。『山と渓谷』連載を加筆し書籍化。

2020:1./ 299p
978-4-635-15606-6
本体 ¥1,400+税

読売新聞 2020/02/23

MARUZEN-YUSHODO

ルードルフ・オットー～宗教学の原点～
澤井　義次　著
慶應義塾大学出版会
20 世紀最大の神学者はどのように「宗教学」の基盤を築いたのか。「聖なるもの」の経験を言語化し、「西洋」と「東洋」が出会い、融合するパースペクティヴを追究した思想家、ルードルフ・オットーの生涯と思想を描く。

2019:12./ 293p,16p
978-4-7664-2645-8
本体 ¥3,500+税

読売新聞 2020/02/23

みその教科書～奇跡の発酵調味料～
岩木　みさき　著
エクスナレッジ
近年注目されているみその健康効果や、知っているようで知らないみその分類・地域性を解説し、簡単みそ汁アイデア 30、みその新しい魅力に出会えるレシピ 25 などを紹介する。著者が歩いて巡った全国のみそ蔵探訪も収録。

2020:2./ 127p
978-4-7678-2708-7
本体 ¥1,600+税

読売新聞 2020/02/23

事を成すには、狂であれ～野村證券創業者野村徳七その生涯～
福井　保明　著
プレジデント社
野村證券の創業者・野村徳七の積極果敢、失敗を恐れない精神は、今も野村證券の中に脈々と維持されている…。野村徳七の生涯を、虚実織り交ぜてまとめる。徳七の直系の孫・野村晴賢のインタビューも掲載する。

2019:11./ 378p
978-4-8334-2343-4
本体 ¥2,000+税

読売新聞 2020/02/23

まばゆい残像～そこに金子光晴がいた～(わたしの旅ブックス 017)
小林　紀晴　著
産業編集センター
若い頃、詩人・金子光晴の放浪の旅を道標に、世界を旅した小林紀晴。30 年の時を経た今でもなお鮮烈な記憶として残るそれらの旅を振り返り、新たな紀行として書き下ろしたフォトエッセイ。金子光晴の詩文も併載。

2019:11./ 136p
978-4-86311-246-9
本体 ¥1,000+税

読売新聞 2020/02/23

紹興酒革命!～100%原酒に挑む男～
桑原　才介　著
言視舎
「町中華」が評判を呼び、カジュアル中華が裾野を広げるなか、そこで不可欠な紹興酒が注目を集めている。今求められている高品質の紹興酒とは何か。100%原酒にこだわり、日本の紹興酒に革命を起こした男の挑戦。

2020:1./ 149p
978-4-86565-168-3
本体 ¥1,600+税

読売新聞 2020/02/23

新聞連載小説の挿絵でみる近代日本の身装文化
大丸　弘、高橋　晴子　著
三元社
大衆に愛された新聞連載小説の挿絵には、高価な写真機の被写体にはなり得なかった「日々のすがたと暮らし」が活写されている。明治から昭和前期の日本人の身装<身体と装い>の変容を、膨大な挿絵から読み解く。

2019:12./
461p,51p,16p
978-4-88303-500-7
本体 ¥10,000+税

読売新聞 2020/02/23

MARUZEN-YUSHODO

利己的遺伝子の小革命～1970-90 年代日本生態学事情～
岸　由二 著
八坂書房
20 世紀後半、「利己的遺伝子」の比喩を掲げ、進化生態学の新パラダイムが形成された。ドーキンス「利己的な遺伝子」の訳者が、同時代に綴った論文を集成し、この小革命への日本の生態学の開国と適応の歴史を振り返る。

読売新聞 2020/02/23

2019:11./ 278p
978-4-89694-174-6
本体 ¥3,500+税

動物に「心」は必要か～擬人主義に立ち向かう～
渡辺　茂 著
東京大学出版会
動物の「心」は人間から類推できる/すべきものなのか。擬人主義に飲み込まれつつある心理学の歴史を振り返りながら、人間を特別視する思想の起源と危険性を問う。『UP』連載に加筆し書籍化。

読売新聞 2020/02/23、日本経済新聞 2020/02/29

2019:12./ 4p,246p
978-4-13-013314-2
本体 ¥2,700+税

星の子(朝日文庫　い 93-1)
今村　夏子 著
朝日新聞出版
林ちひろは中学 3 年生。出生直後から病弱だった娘を救いたい一心で、ちひろの両親は「あやしい宗教」にのめり込んでいき、その信仰は少しずつ家族のかたちを歪めていく…。小川洋子との対談も収録。

日本経済新聞 2020/02/01

2019:12./ 255p
978-4-02-264940-9
本体 ¥620+税

和製英語～伝わらない単語、誤解される言葉～(角川ソフィア文庫　E302-1)
スティーブン・ウォルシュ 著
KADOKAWA
スキンシップは「皮製の船」? ハイテンションは「高圧電流」? 英語話者には奇妙な妄想すらかきたててしまう言葉たちを、伝わる英語で言い換えるには? 愛すべきメイド・イン・ジャパンの言語世界を楽しく解説する。

日本経済新聞 2020/02/01

2020:1./ 202p
978-4-04-400537-5
本体 ¥760+税

江戸の災害～オランダ商館長が見た～(講談社現代新書　2556)
フレデリック・クレインス 著
講談社
明暦の大火、元禄地震、雲仙・普賢岳の噴火…。江戸時代の人びとは災害をいかに生き抜いたのか。歴代のオランダ商館長の克明な記録をもとに、災害列島を生きる日本人の姿に迫る。磯田道史による本文解説付き。

日本経済新聞 2020/02/01

2019:12./ 289p
978-4-06-518179-9
本体 ¥960+税

時間はどこから来て、なぜ流れるのか?～最新物理学が解く時空・宇宙・意識の「謎」～(ブルーバックス　B-2124)
吉田　伸夫 著
講談社
時間とはなにか? 「時間は外部から影響を受けることなく、宇宙全域で一様に流れるという見方=ニュートン流の時間観」を否定し、場のアイデアに基づいて、それに代わる時間概念を提示する。

日本経済新聞 2020/02/01

2020:1./ 233p
978-4-06-518463-9
本体 ¥1,000+税

MARUZEN-YUSHODO

未来をつくる言葉～わかりあえなさをつなぐために～
ドミニク・チェン　著
新潮社
湧き上がる気持ちをデジタルで表現する達人の思考と実践は、分断を「翻訳」してつなぎ、多様な人が共に在る場をつくっていく。気鋭の情報学者が、デジタル表現のこれからを語る。『考える人』連載を大幅に加筆・修正。

2020:1./ 206p
978-4-10-353111-1
本体 ¥1,800+税

日本経済新聞 2020/02/01

失敗の本質～日本軍の組織論的研究～(中公文庫)
戸部　良一　著
中央公論新社
大東亜戦争での諸作戦の失敗を、組織としての日本軍の失敗ととらえ直し、これを現代の組織一般にとっての教訓とした戦史の初めての社会科学的分析。

2000:4./ 413p
978-4-12-201833-4
本体 ¥762+税

日本経済新聞 2020/02/01

2060 デジタル資本主義
日本経済研究センター　編
日本経済新聞出版社
迫りくるデジタル経済や高齢化の波、経済規模の縮小…日本が大国として生きのびるには。デジタル資本主義の詳細な未来図を描きながら、生産性向上に向けたデジタル化対応を加速する改革シナリオを提示する。

2019:12./ 238p
978-4-532-35843-3
本体 ¥1,800+税

日本経済新聞 2020/02/01

リベラリズムはなぜ失敗したのか
パトリック・J.デニーン、角　敦子　著
原書房
多くの民主主義国家で不平等が拡大し、強権政治が台頭し、リベラリズムが機能不全となっている。政治、経済、教育、テクノロジーといった様々な分野で見られる問題を検証し、失敗の原因と是正をさぐる。

2019:11./ 249p,20p
978-4-562-05710-8
本体 ¥2,400+税

日本経済新聞 2020/02/01

わたしの美しい庭
凪良　ゆう　著
ポプラ社
統理と百音、路有が住んでいるマンションの屋上には小さな神社がある。断ち物の神さまが祀られていて、悪いご縁を断ち切ってくれるといい…。縁切り神社を訪れる<生きづらさ>を抱えた人たちと、「わたし」の物語。

2019:12./ 279p
978-4-591-16485-3
本体 ¥1,500+税

日本経済新聞 2020/02/01

初老耽美派よろめき美術鑑賞術
高橋明也／冨田章／山下裕二　著
毎日新聞出版
大切なのは「好きだ」と感じる経験を積むこと-。カラダに優しい美術館の巡り方から、作品の見方、おっぱいとエロの真剣考察まで、初老美術史家 3 人組がアートをゆる?く長く楽しむ極意を伝える。

2019:12./ 196p
978-4-620-32615-3
本体 ¥1,500+税

日本経済新聞 2020/02/01

MARUZEN-YUSHODO

21 世紀の啓蒙～理性、科学、ヒューマニズム、進歩～<上>
スティーブン・ピンカー、橘　明美、坂田　雪子　著
草思社
知の巨人ピンカーが綴る、事実に基づく希望の書。健康と医学、食糧事情…。多くの領域が啓蒙の理念と実践により改善されてきたことをデータを用いて明らかにし、無根拠な「衰退の予言」の欠陥を指摘する。

日本経済新聞　2020/02/01

2019:12./ 464p
978-4-7942-2421-7
本体 ¥2,500+税

21 世紀の啓蒙～理性、科学、ヒューマニズム、進歩～<下>
スティーブン・ピンカー、橘　明美、坂田　雪子　著
草思社
知の巨人ピンカーが綴る、事実に基づく希望の書。人々の知能、生活の質、幸福感、平和…。多くの領域が啓蒙の理念と実践により改善されてきたことをデータを用いて明らかにし、無根拠な「衰退の予言」の欠陥を指摘する。

日本経済新聞　2020/02/01

2019:12./ 509p
978-4-7942-2422-4
本体 ¥2,500+税

オタク経済圏創世記～GAFA の次は 2.5 次元コミュニティが世界の主役になる件～
中山　淳雄　著
日経BP社
ゲーム・アニメからプロレスまで、世界のオタクを魅了する日本の 2.5 次元戦略とは? オタク文化商品が国内で生成され、マスカルチャーとなる過程、それがグローバルにおいても消費されるようになる過程を分析する。

日本経済新聞　2020/02/01

2019:11./ 239p
978-4-8222-8998-0
本体 ¥1,700+税

遠の眠りの
谷崎　由依　著
集英社
女工として働く絵子は、百貨店の支配人と知り合う。百貨店には専属の「少女歌劇団」があり、絵子は「お話係」として雇ってもらうことに。看板女優・キヨと仲良くなるが、実は彼女は…。『すばる』連載を加筆修正して単行本化。

日本経済新聞　2020/02/01、朝日新聞　2020/02/15

2019:12./ 274p
978-4-08-771687-0
本体 ¥1,800+税

息吹
テッド・チャン　著
早川書房
人間がひとりも出てこない世界の秘密を探究する科学者の、驚異の物語を描く表題作ほか、「予期される未来」「大いなる沈黙」など、科学・思想・文学の最新の知見を取り入れた 9 篇を収めた、テッド・チャンの作品集。

日本経済新聞　2020/02/01、朝日新聞　2020/02/22

2019:12./ 430p
978-4-15-209899-3
本体 ¥1,900+税

国民食の履歴書～カレー、マヨネーズ、ソース、餃子、肉じゃが～
魚柄　仁之助　著
青弓社
文明開化期からの家庭雑誌・料理雑誌を渉猟して、レシピどおりに調理し、経験豊かな舌で味を吟味。その結果から通説の輸入史・生育史に疑問やダメ出しを投げかけて、意外な経歴を明らかにする食文化論。

日本経済新聞　2020/02/01、朝日新聞　2020/02/29

2020:1./ 187p
978-4-7872-2087-5
本体 ¥1,800+税

MARUZEN-YUSHODO

「孤独な育児」のない社会へ～未来を拓く保育～(岩波新書 新赤版 1816)
榊原 智子 著
岩波書店
ワンオペ育児,産後うつ…。家族の形も変わる中、「孤独な育児」が日常化している。保育所やこども園は大きな支えになるのに、育休中の退園ルールや保育所建設反対はなぜ起きるのか。現場を取材し、今後に向けて提言する。

日本経済新聞 2020/02/01、読売新聞 2020/02/02

2019:11./ 8p,237p
978-4-00-431816-3
本体 ¥820+税

佐藤栄作～戦後日本の政治指導者～(中公新書 2570)
村井 良太 著
中央公論新社
7 年 8 カ月の長期政権を誇った佐藤栄作。官僚政治家との批判が強かったが、憲法改正を回避し日米安保体制の安定を確立させる中、沖縄返還、日韓基本条約締結など事績は多い。「戦後日本」を完成させた政治指導者の真実を描く。

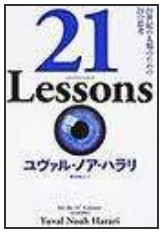
日本経済新聞 2020/02/01、読売新聞 2020/02/16、毎日新聞 2020/02/16

2019:12./ 6p,418p
978-4-12-102570-8
本体 ¥1,000+税

地形の思想史
原 武史 著
KADOKAWA
なぜ、皇太子一家はある「岬」を訪ね続けたのか? なぜ、「峠」で天皇制と革命思想は対峙したのか? なぜ、富士の「麓」でオウムは終末を望んだのか? 国内の様々な場所を歩き、地形と思想の浅からぬ関係について考察する。

日本経済新聞 2020/02/01、毎日新聞 2020/02/02

2019:12./ 269p
978-4-04-108022-1
本体 ¥1,800+税



21 Lessons～21 世紀の人類のための 21 の思考～
ユヴァル・ノア・ハラリ、柴田 裕之 著
河出書房新社
“知の巨人”が、テクノロジーや政治をめぐる難題から、この世界における真実、そして人生の意味まで、人類が直面している 21 の重要テーマを厳選。正解の見えない今の時代に、どのように思考し行動すべきかを問う。

日本経済新聞 2020/02/01、毎日新聞 2020/02/02、朝日新聞 2020/02/15

2019:11./ 466p
978-4-309-22788-7
本体 ¥2,400+税

デルタの悲劇(角川文庫 う 26-2)
浦賀 和宏 著
KADOKAWA
ひと気のない公園の池で 10 歳の少年の溺死体が発見された。10 年後、少年の幼なじみを名乗る男が、少年をイジメていたクラスメイトの 3 人の前に現れ罪の告白を迫ってきた。果たして少年を殺したのは誰なのか…。

日本経済新聞 2020/02/08

2019:12./ 193p
978-4-04-108314-7
本体 ¥560+税

「歴史認識」とは何か～対立の構図を超えて～(中公新書 2332)
大沼 保昭、江川 紹子 著
中央公論新社
韓国併合、満洲事変から東京裁判、慰安婦問題まで、歴史的事実が歴史認識問題に転化する経緯、背景を具体的に検証。あわせて、欧米諸国が果たしていない植民地支配責任を提起し、日本の取り組みが先駆となることを指摘する。

日本経済新聞 2020/02/08

2015:7./ 7p,254p
978-4-12-102332-2
本体 ¥840+税

MARUZEN-YUSHODO

日本の品種はすごい～うまい植物をめぐる物語～(中公新書　2572)
竹下　大学 著
中央公論新社
より美味で、かつ丈夫、収穫量が多く、栽培しやすい品種を-。誰もが夢見る新品種を生むべく、自然と格闘する育種家。じゃがいもや大豆など 7 つの身近な食用植物を取り上げ、その進化と普及に至るドラマを描き出す。

日本経済新聞 2020/02/08

2019:12./ 3p,282p
978-4-12-102572-2
本体 ¥900+税

十二月の十日
ジョージ・ソーンダーズ、岸本　佐知子 著
河出書房新社
愛する長女のために素敵な誕生パーティを開こうと格闘する父親、人間モルモットとして薬を投与される若者たち、暴力の衝動を膨れ上がらせる若き元軍人…。ダメ人間たちが下降のはてに意外な気高さに輝く姿を描き出した短篇集。

日本経済新聞 2020/02/08

2019:12./ 292p
978-4-309-20786-5
本体 ¥2,400+税

生命進化の物理法則
チャールズ・コケル、藤原　多伽夫 著
河出書房新社
細胞、DNA、分子、原子…。肉眼で見えない世界で物理法則が果たす役割、生物が炭素ベースの有機化合物でできている理由などを考察し、生命と物理法則の関係を探究。地球外生命という宇宙的な規模まで広がる壮大な生物論。

日本経済新聞 2020/02/08

2019:12./ 373p
978-4-309-25404-3
本体 ¥2,500+税

美を見極める力～古美術に学ぶ～(光文社新書　1040)
白洲　信哉 著
光文社
いまブームの日本美術。西洋美術との大きな違いは、実際に使うことで「美」を育てていくところにある。「特異な美」の深みへといざなう、目利きになるための入門書。カラー写真も豊富に掲載。

日本経済新聞 2020/02/08

2019:12./ 277p
978-4-334-04449-7
本体 ¥1,200+税

縄文ルネサンス～現代社会が発見する新しい縄文～
古谷　嘉章 著
平凡社
縄文ファンの活動が拡大し多様化している。「知らなかった縄文文化(のモノ)に、気づかなかった価値を見出し、現代社会の生活に活かす、多種多様な文化現象」を「縄文ルネサンス」と名づけて論考する。

日本経済新聞 2020/02/08

2019:12./ 289p
978-4-582-83824-4
本体 ¥2,800+税

サルトルのプリズム～二十世紀フランス文学・思想論～
澤田　直 著
法政大学出版局
20 世紀フランスを代表する哲学者で作家のサルトルは、同時代人との友情・競合関係を通じていかにその特異な思想と文体を創造しえたのか。伝記や自伝、イメージや歴史、同性愛など多様な光源から縦横に論じる。

日本経済新聞 2020/02/08

2019:12./
20p,373p,5p
978-4-588-13029-8
本体 ¥3,500+税

MARUZEN-YUSHODO

告発～フェイスブックを揺るがした巨大スキャンダル～
ブリタニー・カイザー、染田屋　茂、道本　美穂、小谷　力、小金　輝彦　著
ハーパーコリンズ・ジャパン
トランプ政権はこうして誕生した-。選挙コンサルティング会社「ケンブリッジ・アナリティカ」の元幹部が、監視資本主義の恐るべき実情を暴露。同社の活動実態や、ビッグデータがもたらす危険性について警告する。

2019:12./ 509p
978-4-596-55151-1
本体 ¥1,800+税

日本経済新聞 2020/02/08

イノベーションの歴史～日本の革新的企業家群像～
橘川　武郎　著
有斐閣
江戸から現代までに繰り広げられた企業家による革新的な経営行動をとらえ、日本経済の礎を築いたイノベーターたちの生き様を描き出した書。彼らの成功への道筋を浮き彫りにする。

2019:11./ 8p,268p
978-4-641-16552-6
本体 ¥2,500+税

日本経済新聞 2020/02/08

ビートルズ(ハルキ文庫　ハ 1-1)
マーク・ハーツガード、湯川　れい子　著
角川春樹事務所
ビートルズが重要な意味を持つのは、ファッションや社会的影響力よりも、その音楽のすばらしさである。アビイ・ロード・スタジオに眠る 400 時間以上ものテープを発掘し、彼らの音楽的事実を積み上げて描く。

2019:11./ 502p
978-4-7584-4306-7
本体 ¥1,300+税

日本経済新聞 2020/02/08

クローデル小喜劇集
ポール・クローデル、ティエリ・マレ　編
ポール・クローデル、石井　咲　著
水声社
歓喜と哄笑が渦巻く喜劇世界へようこそ! 英雄メネラオスとヘレネをめぐるギリシア悲劇を喜劇に仕立てた「プロテウス」ほか、笑いを恩寵と見なした、詩人・劇作家・外交官クローデルの小戯曲全 6 編を収録。

2019:12./ 289p
978-4-8010-0466-5
本体 ¥4,000+税

日本経済新聞 2020/02/08

---

e スポーツマーケティング～若者市場をつかむ最強メディアを使いこなせ～
日経クロストレンド　編
日経BP社
世界の若者たちが熱狂する e スポーツは、大手企業が続々参入している急成長市場でもある。マーケティングという視点で e スポーツ関係者を取材し、2019 年現在の e スポーツの状況をまとめる。

2019:11./ 279p
978-4-8222-8996-6
本体 ¥1,700+税

日本経済新聞 2020/02/08

「家庭料理」という戦場～暮らしはデザインできるか?～
久保明教　著
コトニ社
小林カツ代、栗原はるみら料理研究家の著作からレシピ投稿サービス『クックパッド』まで、数々のレシピを基に調理と分析を繰り返し、生活と学問を往復しながら家庭料理の変遷を追う。ウェブマガジン『E!』掲載を基に書籍化。

2020:1./ 213p
978-4-910108-01-8
本体 ¥2,000+税

日本経済新聞 2020/02/08

フィンランド人はなぜ午後 4 時に仕事が終わるのか(ポプラ新書 182)
堀内 都喜子 著
ポプラ社
ワークライフバランス世界 1 位! 仕事、家庭、趣味、勉強…。フィンランド人はなんにでも貪欲。同時に、睡眠時間は平均 7 時間半以上。やりたいことはやる、でもゆとりのあるフィンランド流の働き方&生き方の秘訣を紐解く。

日本経済新聞 2020/02/08、朝日新聞 2020/02/15

2020:1./ 224p
978-4-591-16590-4
本体 ¥860+税

シークレット・ウォーズ～アメリカ、アフガニスタン、パキスタン 三つ巴の諜報戦争～<上>
スティーブ・コール、笠井 亮平 著
白水社
「9.11」以降、アフガニスタンとパキスタンを舞台に、アメリカ・CIA などのインテリジェンス機関や各国政府・軍が繰り広げた「見えざる闘い」。上は、2001 年から 2009 年までを、圧倒的な臨場感と情報量で描く。

日本経済新聞 2020/02/08、読売新聞 2020/02/09

2019:11./ 475p,30p
978-4-560-09725-0
本体 ¥3,800+税

シークレット・ウォーズ～アメリカ、アフガニスタン、パキスタン三つ巴の諜報戦争～<下>
スティーブ・コール、笠井 亮平 著
白水社
「9.11」以降、アフガニスタンとパキスタンを舞台に、アメリカ・CIA などのインテリジェンス機関や各国政府・軍が繰り広げた「見えざる闘い」。下は、2010 年から 2014 年までを、圧倒的な臨場感と情報量で描く。

日本経済新聞 2020/02/08、読売新聞 2020/02/09

2019:11./ 482p,33p
978-4-560-09735-9
本体 ¥3,800+税

鏡の古代史(角川選書 630)
辻田 淳一郎 著
KADOKAWA
最前線の研究に基づき考古学の重要な理論や方法論を示しつつ、複雑で難解な鏡の研究史を整理。邪馬台国以前から 6 世紀の磐井の乱の時代まで、遺跡から出土する鏡の形態や製作地、列島内での流通と分布を丁寧に解説する。

日本経済新聞 2020/02/15

2019:12./ 410p
978-4-04-703663-5
本体 ¥2,000+税

遠い太鼓(講談社文庫)
村上春樹 著
講談社
日本経済新聞 2020/02/15

1993:4./ 570p
978-4-06-185382-9
本体 ¥800+税

ノルウェイの森<上>(講談社文庫)
村上 春樹 著
講談社
暗く重たい雨雲をくぐり抜け、飛行機がハンブルク空港に着陸すると、天井のスピーカーから小さな音でビートルズの『ノルウェイの森』が流れ出した。僕は 1969 年、もうすぐ 20 歳になろうとする秋のできごとを思い出し、激しく混乱し、動揺していた。

日本経済新聞 2020/02/15

2004:9./ 302p
978-4-06-274868-1
本体 ¥620+税

MARUZEN-YUSHODO

ノルウェイの森<下>(講談社文庫)
村上 春樹 著
講談社
自殺した親友キズキ、その恋人の直子、同じ学部の緑。等身大の人物を登場させ、心の震えや感動、そして哀しみを淡々とせつないまでに描いた作品。

日本経済新聞 2020/02/15

2004:9./ 293p
978-4-06-274869-8
本体 ¥620+税

最高の任務
乗代 雄介 著
講談社
大学の卒業式を前にした私はあるきっかけで、小学生の頃、いまは亡き叔母にもらって書き始めた日記帳をひもとく。叔母との記憶が、日記を通して語られていき…。表題作に「生き方の問題」を併録。『群像』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2020/02/15

2020:1./ 183p
978-4-06-518600-8
本体 ¥1,550+税

海辺のカフカ<上>(新潮文庫)
村上 春樹 著
新潮社
日本経済新聞 2020/02/15

2005:3./ 486p
978-4-10-100154-8
本体 ¥710+税

海辺のカフカ<下>(新潮文庫)
村上 春樹 著
新潮社
日本経済新聞 2020/02/15

2005:3./ 528p
978-4-10-100155-5
本体 ¥750+税

孤宿の人<上>(新潮文庫)
宮部 みゆき 著
新潮社
日本経済新聞 2020/02/15

2009:11./ 493p
978-4-10-136931-0
本体 ¥800+税

孤宿の人<下>(新潮文庫)
宮部 みゆき 著
新潮社
日本経済新聞 2020/02/15

2009:11./ 520p
978-4-10-136932-7
本体 ¥790+税

No Image

女には向かない職業(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 129-1)
P.D.ジェイムズ、小泉 喜美子 著
早川書房
日本経済新聞 2020/02/15

1987:9./ 379p
978-4-15-076601-6
本体 ¥840+税

No Image

皮膚の下の頭蓋骨(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 129-2)
P.D.ジェイムズ、小泉 喜美子 著
早川書房
日本経済新聞 2020/02/15

1987:10./ 630p
978-4-15-076602-3
本体 ¥1,100+税

翔ぶが如く<1>(文春文庫)
司馬　遼太郎　著
文芸春秋
明治六年、「征韓論」を主唱した西郷隆盛と大久保利通の衝突は、ついに国の存亡を賭けた抗争にまで沸騰してゆく。長篇小説全十冊

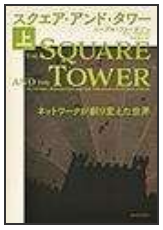
2002:2./ 346p
978-4-16-710594-5
本体 ¥660+税

日本経済新聞 2020/02/15

突き抜けるデザインマネジメント
田子　學、田子　裕子　著
日経BP社
複雑で重層化した現代社会の課題解決を実行したいなら、クリエイティビティーを大いに発揮するデザインのアプローチが不可欠。全く新しい価値の創造を可能にする経営手法を、実際の事例に基づいて伝授する。

2019:12./ 476p
978-4-296-10393-5
本体 ¥2,500+税

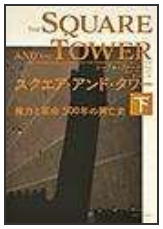
日本経済新聞 2020/02/15



スクエア・アンド・タワー～ネットワークが創り変えた世界～<上>
ニーアル・ファーガソン、柴田　裕之　著
東洋経済新報社
垂直の階層制か、分散型のネットワークか? 古代から現代までの歴史を、階層制とネットワークという 2 つの組織形態と両者のダイナミックな相互関係の観点から考察。上は、王家による階層制の復興などを取り上げる。

2019:12./ 395p
978-4-492-37126-8
本体 ¥2,500+税

日本経済新聞 2020/02/15



スクエア・アンド・タワー～権力と革命 500 年の興亡史～<下>
ニーアル・ファーガソン、柴田　裕之　著
東洋経済新報社
垂直の階層制か、分散型のネットワークか? 古代から現代までの歴史を、階層制とネットワークという 2 つの組織形態と両者のダイナミックな相互関係の観点から考察。下は、21 世紀のネットワークなどを取り上げる。

2019:12./ 500p
978-4-492-37127-5
本体 ¥2,500+税

日本経済新聞 2020/02/15

大空に夢を求めて(私の履歴書)
大橋　洋治　著
日本経済新聞出版社
全日空(ANA)に入社して以来 55 年。アジアを代表する航空会社となることを目指し、我武者羅に仕事に邁進してきた著者が、同社と日本の航空業界をめぐるできごとを述懐する。『日本経済新聞』連載に加筆し書籍化。

2020:1./ 197p
978-4-532-32320-2
本体 ¥1,600+税

日本経済新聞 2020/02/15

ホカツと家族～家族のカタチを探る旅～
アサダ　ワタル　著
平凡社
地域コミュニティと保育、シェアハウスでの子育て、未来の大家族子育て…。東京と新潟での家族二拠点生活を送る著者が、多様な家族像に迫り、自分たちに適した「家族のカタチ」を探る。『ウェブ平凡』連載を改題して単行本化。

2019:12./ 283p
978-4-582-83822-0
本体 ¥1,800+税

日本経済新聞 2020/02/15

MARUZEN-YUSHODO

米国と戦後東アジア秩序～中国大国化構想の挫折～
高橋　慶吉 著
有斐閣
第二次世界大戦後、中国大国化構想に挫折したアメリカは、日本をパートナーとする東アジア政策の基本路線を確立する。こうしたアメリカの東アジア政策の転換過程を、米国対外援助法の制定などを軸に検証する。

2019:12./ 6p,292p
978-4-641-14934-2
本体 ¥4,300+税

日本経済新聞 2020/02/15

地球温暖化で雪は減るのか増えるのか問題
川瀬　宏明 著
ベレ出版
地球温暖化で日本の雪が変わる!? 雪と地球温暖化を専門に研究する著者が、日本の雪の特徴と地球温暖化の基本を踏まえたうえで、0 度を境にした雪と地球温暖化の戦いに迫る。各地域の気象キャスターによるコラムも掲載。

2019:12./ 254p
978-4-86064-603-5
本体 ¥1,700+税

日本経済新聞 2020/02/15

西への出口(CREST BOOKS)
モーシン・ハミッド 著
新潮社
内戦の激化する街で恋に落ちたナディアとサイード。破壊された故郷を脱出したふたりの前には、様々な岐路が現われ…。新天地を求めるその旅の行方は? 移民や難民があふれる現代を描く同時代小説。

2019:12./ 189p
978-4-10-590162-2
本体 ¥1,800+税

日本経済新聞 2020/02/15、東京・中日新聞 2020/02/23

将棋指しの腹のうち
先崎　学 著
文藝春秋
羽生善治とステーキを食べた夜、加藤一二三のチョコレートのひみつ…。棋士たちは何を食い、何を語り、将棋に挑むのか。“うつ病九段”がメシから見た将棋界の真実を描く。

2020:1./ 191p
978-4-16-391160-1
本体 ¥1,200+税

日本経済新聞 2020/02/15、毎日新聞 2020/02/16

私をくいとめて(朝日文庫　わ 13-1)
綿矢りさ 著
朝日新聞出版
黒田みつ子、もうすぐ 33 歳。もう一人の自分「A」に脳内で何でも相談できるから、一人で生きていくことに抵抗はないと思っていたのだが…。同世代の気持ちを描き続けてきた、綿矢りさの真骨頂。

2020:2./ 249p
978-4-02-264949-2
本体 ¥640+税

日本経済新聞 2020/02/22

国際社会を支配する地政学の思考法～歴史・情報・大衆を操作すれば他国を思い通りにできる～
ペドロ・バーニョス 著
講談社
隣国を出し抜き、大衆をコントロールする権力者たちの戦略とは? 世界一“隣人”が多い中国、“善人主義”を掲げる米国…。国防・諜報を知り尽くした軍事戦略家が、勝ち残る国がやっていること・やらないことを明かす。

2019:12./ 461p
978-4-06-517565-1
本体 ¥2,400+税

日本経済新聞 2020/02/22

となりのヨンヒさん
チョン　ソヨン、吉川　凪　著
集英社
もしも隣人が宇宙人だったら? もしも並行世界を行き来できたら? もしも私の好きなあの子が未知のウイルスに侵されてしまったら…? マイノリティからの眼差しを受け止めつつ人々の挫けぬ心を繊細に描く、韓国 SF 小説集。

日本経済新聞 2020/02/22

2019:12./ 253p
978-4-08-773503-1
本体 ¥1,800+税

役者ほど素敵な商売はない
市村　正親　著
新潮社
今だから話せる、あの時の真実-。「オペラ座の怪人」ファントム誕生秘話から、劇団四季退団の真相、突然のがん闘病まで、演劇界のレジェンド・市村正親が激しい舞台人生を語る。

日本経済新聞 2020/02/22

2020:1./ 203p
978-4-10-353121-0
本体 ¥1,500+税

大宅壮一の「戦後」
阪本　博志　著
人文書院
「マスコミの王様」は、どのようにして生まれたのか? 苦労を重ねた少年時代に始まり、知られざる戦中・占領期をへて、最盛期たる昭和 30 年代まで、文献資料を博捜し関係者へのインタビューも交え、その「戦後」に迫る。

日本経済新聞 2020/02/22

2019:11./ 334p
978-4-409-24127-1
本体 ¥3,800+税

身近な「くすり」歳時記
鈴木　昶　著
東京書籍
屠蘇と七草、桜と月桂樹、紫蘇と薄荷、生姜と茗荷、柚子と南瓜…。古来から使われてきた身近な「くすり」である生薬・漢方薬を、12 カ月の月別にあげ、行事や気候、文化・風習とともに歳時記として語る。

日本経済新聞 2020/02/22

2019:12./ 373p
978-4-487-81330-8
本体 ¥1,600+税

デジタル・ファイナンス革命～FUTURE OF FINANCE～
後藤　友彰、山田　和延　著
東洋経済新報社
経理財務部門を中心に、AI、RPA、VR、ブロックチェーン、セキュリティ対策、クラウド型 ERP・EPM などが経営をどう変えていくかを解説。今後の経理財務のあるべき組織像や人物像、期待される仕事について提言する。

日本経済新聞 2020/02/22

2019:12./ 8p,266p
978-4-492-60230-0
本体 ¥1,800+税

ブランディング(日経文庫　1417)
中村　正道　著
日本経済新聞出版社
多くのプロジェクト構築に携わった著者が、現場で必要な視点をふんだんに盛り込みながら、ブランディングの理解、設計から実践、測定までをわかりやすく解説する。スターバックスやスノーピークなどの事例も収録。

日本経済新聞 2020/02/22

2019:12./ 231p
978-4-532-11417-6
本体 ¥900+税

MARUZEN-YUSHODO

なぜわれわれは外来生物を受け入れる必要があるのか
クリス・D.トマス、上原　ゆうこ　著
原書房
私たちは進化的変化の加速と新しい種類の生命の発生を目の当たりにしている-。英国の生態学者・進化生物学者である著者が「生物多様性の真の姿」を説く。外来生物の排除に生態学の立場から異を唱えた書。

日本経済新聞　2020/02/22

2018:11./ 343p
978-4-562-05593-7
本体 ¥2,400+税

安藤忠雄建築を生きる
三宅　理一　著
みすず書房
安藤忠雄の生い立ちから現在までを同時代的背景とともにたどりつつ、住宅、商業施設、教会・寺院、学校・図書館、ミュージアム・劇場ほか種々の建築作品と環境・文化プロジェクトを精緻に読みとく。

日本経済新聞　2020/02/22

2019:12./ 320p
978-4-622-08869-1
本体 ¥3,000+税

酒場の京都学
加藤　政洋　著
ミネルヴァ書房
お茶屋・お座敷といった敷居の高い店が多く残る一方で、より庶民的な一杯飲み屋が軒を連ねる京都。随筆や文学作品、ガイドブックや地図などを手がかりに、こうした京都の酒場の系譜を辿る。

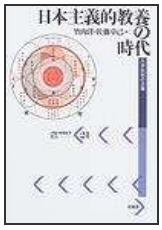
日本経済新聞　2020/02/22

2020:1./ 14p,232p,2p
978-4-623-08802-7
本体 ¥2,500+税

侵略者は誰か?～外来種・国境・排外主義～
ケビン・カミングス　編
井上　太一　著
以文社
外来種を侵略者と読み替える「国境」の論理が生み出す、人間と動物への「排外主義」とは何か。「人新世」や「多元的存在論」など、人間と自然の関係を再検討する諸概念・研究を手がかりに、既存の外来種論の見直しを図る。

日本経済新聞　2020/02/22

2019:1./ 308p
978-4-7531-0351-5
本体 ¥3,400+税



日本主義的教養の時代～大学批判の古層～(パルマケイア叢書)
竹内　洋、佐藤　卓己　著
柏書房
「右翼」「反動」のレッテル貼りで忌避されてきた 1930 年代「日本主義」の大学批判。マルクス主義的教養の機能的代替となった日本主義的教養の担い手たち。戦前「護憲」の降魔剣「日本主義」を解明する。

日本経済新聞　2020/02/22

2006:2./ 309p
978-4-7601-2863-1
本体 ¥3,800+税

外来種は本当に悪者か?～新しい野生 THE NEW WILD～
フレッド・ピアス　著
草思社
想像の産物である「手つかずの自然」を守るより、外来種の活力と「侵略本能」を活かして自然の再生をめざすべき!著名科学ジャーナリストによる、外来種のイメージを根底から覆す知的興奮にみちた科学ノンフィクション。

日本経済新聞　2020/02/22

2016:7./ 320p,15p
978-4-7942-2212-1
本体 ¥1,800+税

MARUZEN-YUSHODO

「自然」という幻想～多自然ガーデニングによる新しい自然保護～
エマ・マリス、岸　由二、小宮　繁　著
草思社
外来種を徹底的に駆除、手つかずの自然から人間を遠ざけ、人工物を撤去…それで本当に地球の自然が守れるのか。過去の自然保護のあり方を批判し、多様な現実的目標設定の下で自然を創り出す「多自然ガーデニング」を提案する。

2018:7./ 334p
978-4-7942-2342-5
本体 ¥1,800+税

日本経済新聞 2020/02/22

ジカ熱～ブラジル北東部の女性と医師の物語～
デボラ・ジニス、奥田　若菜、田口　陽子　著
水声社
2015 年ブラジルで流行し、新生児を襲った未知の感染症「ジカ熱」。ウイルス特定までの過程を描くなかで、ブラジルの地域格差、リプロダクティブ・ヘルス、孤立する家族といった問題を浮かび上がらせるフェミニスト民族誌。

2019:11./ 247p
978-4-8010-0456-6
本体 ¥3,000+税

日本経済新聞 2020/02/22

外来種のウソ・ホントを科学する
ケン・トムソン　著
築地書館
外来種の侵入によって間違いなく損失があるのか?駆除のターゲットは正しかったのか?英国の生物学者が、世界で脅威とされている外来種を例に、在来種と外来種にまつわる問題を、文献やデータをもとに多角的に検証する。

2017:3./ 316p
978-4-8067-1533-7
本体 ¥2,400+税

日本経済新聞 2020/02/22

クリーンミート～培養肉が世界を変える～
ポール・シャピロ、鈴木　素子　著
日経BP社
クリーンミートとは、細胞から人工培養でつくる食肉のこと。培養技術で肉をつくれば、動物を飼育して殺すよりも多くの資源を節減できる。細胞農業で畜産業を根本から改革しようと立ち上がった人々を描くノンフィクション。

2020:1./ 364p
978-4-8222-8861-7
本体 ¥1,800+税

日本経済新聞 2020/02/22

大衆文化のなかの虫たち～文化昆虫学入門～
保科　英人、宮ノ下　明大　著
論創社
大衆文化・サブカルチャーに特化した、文化昆虫学の入門書。明治・大正期のペット昆虫から、現代の特撮やアニメ・ゲーム、食品や身の回り品のモチーフとなった昆虫、二次元世界の文化蛙学まで、ユニークな研究成果を公開する。

2019:12./ 318p
978-4-8460-1891-7
本体 ¥2,500+税

日本経済新聞 2020/02/22

池の水ぜんぶ“は”抜くな!～外来種はみんなワルモノなのか～
池田　清彦、月刊つり人編集部　編
池田　清彦　著
つり人社
外来種問題は「ケース・バイ・ケース」で考える必要があるのではないか。共存可能なら共存していくのが、今後のありかたではないか-。外来種の駆除について考える。池田清彦が語る「外来種問題の現在」も収録。

2019:6./ 127p
978-4-86447-333-0
本体 ¥1,000+税

日本経済新聞 2020/02/22

MARUZEN-YUSHODO

地中海世界～ギリシア・ローマの歴史～(講談社学術文庫　2597)
弓削　達　著
講談社
ポリスから、大帝国へ。自主と独立の精神を生んだ市民共同体は、なぜ帝国の覇権に屈したのか。その支配と正義の原理を問い、あらゆる文明の母胎となった地中海世界 2000 年の歴史を、大きな視座から追究する。

2020:1./ 211p
978-4-06-518344-1
本体 ¥920+税

日本経済新聞 2020/02/22、毎日新聞 2020/02/23

「江戸大地震之図」を読む(角川選書　629)
杉森　玲子　著
KADOKAWA
国宝・島津家文書の中の「江戸大地震之図」と、ほぼ同じ絵巻がアイルランドのチェスター・ビーティー図書館にもある。2 本の画像を解析し、文献史料をあわせて読み、安政江戸地震を通して幕末の政治と江戸の社会を読み解く。

2020:1./ 261p
978-4-04-703648-2
本体 ¥1,800+税

日本経済新聞 2020/02/29

渡辺錠太郎伝～二・二六事件で暗殺された「学者将軍」の非戦思想～
岩井　秀一郎　著
小学館
教育総監という軍事エリートでありながら、非戦平和を唱えていた陸軍大将は、平成のベストセラーを著した渡辺和子の父でもあった。軍の一部から邪魔な存在と見なされ、二・二六事件で標的となった渡辺錠太郎の非戦思想に迫る。

2020:2./ 333p
978-4-09-388747-2
本体 ¥1,800+税

日本経済新聞 2020/02/29

百鬼園先生雑記帳～附・百間書簡註解～(中公文庫　ひ 37-2)
平山　三郎　著
中央公論新社
名著「阿房列車」シリーズでお馴染み“ヒマラヤ山系氏”による百鬼園文学の副読本。「漱石をめぐって拾遺」「阿房列車小遣帖」など全 10 編を収録する。昭和 23 年 5 月から 26 年 9 月までの百間先生書簡も註解付きで掲載。

2020:2./ 271p
978-4-12-206843-8
本体 ¥900+税

日本経済新聞 2020/02/29

奥さまは愛国(河出文庫　き 15-1)
北原　みのり／朴　順梨　著
河出書房新社
愛国思想を持つ女性たちが激増している。彼女たちの動機は何か、社会に何を望み、何を愛し、守ろうとしているのか? 明治神宮、新大久保、皇居、朝鮮学校、靖国神社などの現場を訪ね、その実相に迫る。最新状況を増補。

2020:2./ 301p
978-4-309-41734-9
本体 ¥1,080+税

日本経済新聞 2020/02/29

昭和芸能界史　戦後の芸能界は如何にして成立したか～昭和二十年夏～昭和三十一年篇～
塩澤　幸登　著
河出書房新社
美空ひばり、黒澤明、石原裕次郎…。時代をつくり出した新しいスター、アイドルたちは何を語り、そこで大衆はなにを夢みたのか。戦後、日本社会の大衆文化形成の中心的存在だった芸能界の歴史を描く。

2020:1./ 478p
978-4-309-92189-1
本体 ¥2,700+税

日本経済新聞 2020/02/29

MARUZEN-YUSHODO

21 世紀落語史～すべては志ん朝の死から始まった～(光文社新書　1045)
広瀬　和生　著
光文社
古今亭志ん朝の早すぎる死という悲劇を乗り越える中で「落語ブーム」が訪れ、今の活況に結びついた。21　世紀の落語界の現在に至るまでの出来事を、落語ファンとして客席に足を運び続けた立場から振り返る。

日本経済新聞　2020/02/29

2020:1./ 377p
978-4-334-04455-8
本体 ¥1,000+税

無形資産が経済を支配する～資本のない資本主義の正体～
ジョナサン・ハスケル／スティアン・ウェストレイク　著
東洋経済新報社
スターバックスの店舗マニュアル、コカ・コーラの製法とブランド、グーグルのアルゴリズム…。無形資産の増大は生産性や格差にどのような影響をもたらすのか? これまで計測できなかった無形資産の全貌を包括的に分析する。

日本経済新聞　2020/02/29

2020:1./
10p,359p,29p
978-4-492-31524-8
本体 ¥2,800+税

観光ブランドの教科書～地域引力を生み出す～
岩崎　邦彦　著
日本経済新聞出版社
地域が観光客を引きつける力を「地域引力」と表現し、いかに「地域引力」を向上させるか、どうすれば強いブランドが生まれるのかを内外の消費者調査をもとに分析。持続可能な観光への条件を明らかにする。

日本経済新聞　2020/02/29

2019:11./ 254p
978-4-532-32307-3
本体 ¥1,600+税

漁業と国境
濱田　武士、佐々木　貴文　著
みすず書房
北方水域、日本海、東シナ海、南洋…。国境水域には各国の覇権争いが表出する。日本漁業は弱体化し、近海は外国漁船に取り囲まれている。「漁業と国境」の過去から現在を綴り、国境水域の漁業の未来を考える。

日本経済新聞　2020/02/29

2020:1./ 375p
978-4-622-08870-7
本体 ¥3,600+税

No Image

ドイツ・ギムナジウム 200 年史～エリート養成の社会史～
マルグレット・クラウル　著
ミネルヴァ書房
日本経済新聞　2020/02/29

1986:4./ 244p
978-4-623-01661-7
本体 ¥2,500+税

No Image

軍服を着る市民たち(有斐閣選書)
望田　幸男　著
有斐閣
日本経済新聞　2020/02/29

1983:12./ 266p
978-4-641-02378-9
本体 ¥1,400+税

MARUZEN-YUSHODO

松本清張が「砂の器」を書くまで～ベストセラーと新聞小説の一九五〇年代～(早稲田大学エウプラクシス叢書 021)
山本 幸正 著
早稲田大学出版部
松本清張と新聞小説のかかわりについて考察。清張の新聞小説第一作「野盗伝奇」、ブロック紙掲載「黒い風土」を取り上げると共に、「砂の器」初出誌を調査し、その新聞小説としての姿に迫る。石川達三と川崎長太郎にも触れる。

日本経済新聞 2020/02/29

2020:2./ 5p,292p
978-4-657-20802-6
本体 ¥4,000+税

文盲と読書の社会史
R・エンゲルジング 著
思索社
日本経済新聞 2020/02/29

1985:3./ 266p 図版12p
978-4-7835-1104-5
本体 ¥2,200+税

英国貴族、領地を野生に戻す～野生動物の復活と自然の大遷移～
イザベラ・トゥリー、三木 直子 著
築地書館
野牛、野生馬、野ブタを放したら、絶滅危惧種がつぎつぎに復活した！ 生物学者、自然保護活動家を驚愕させた、欧州の先端知見を集めた環境復活実験をダイナミックに描く。巻頭には写真も掲載。

日本経済新聞 2020/02/29

2019:12./ 406p 図版16p
978-4-8067-1593-1
本体 ¥2,700+税

やりすぎの経済学～中毒・不摂生と社会政策～
ハロルド・ウィンター、河越 正明 著
大阪大学出版会
吸いすぎ、飲みすぎ、食べすぎを知れば、すべてのやりすぎを止められる。タバコ・酒・肥満という身近な話題を、ウィットに富んだ語り口で明快に説明。政策や福祉国家のあり方まで展開する。

日本経済新聞 2020/02/29

2020:1./ 357p
978-4-87259-616-8
本体 ¥2,300+税

涼子点景 1964
森谷 明子 著
双葉社
1964 年のオリンピック決定に沸く東京で、競技場近くに住む一人の男が失踪した。娘は自分の居場所と未来を手に入れるため、幸運を味方に生き抜いてゆく-。緻密な伏線と謎が心を搦めとる長編ミステリー。

毎日新聞 2020/02/01

2020:1./ 357p
978-4-575-24243-0
本体 ¥1,600+税

じゃりン子チエ<4>(双葉文庫 は-04-56)
はるき 悦巳 著
双葉社
自分が顔も性格も足の速さも父親のテツそっくりなことに気づいて将来が不安になったチエちゃん。そんな時、父兄運動会の地区対抗リレーで母親のヨシ江さんが走ることになり…。『WEEKLY 漫画アクション』掲載を文庫化。

毎日新聞 2020/02/01

2020:1./ 509p
978-4-575-72803-3
本体 ¥800+税

MARUZEN-YUSHODO

民主主義は終わるのか～瀬戸際に立つ日本～(岩波新書 新赤版 1800)
山口 二郎 著
岩波書店
安倍政治の 7 年間で政治家や官僚は劣化し、今までの政治に関する常識が通用しなくなった。常識を溶解、崩壊させている要因は何なのか。自由と民主主義の擁護という観点からこの崩壊現象を考察し、批判の視座を構築する。

毎日新聞 2020/02/02

2019:10./ 9p,242p
978-4-00-431800-2
本体 ¥840+税

アメリカはなぜ戦争に負け続けたのか～歴代大統領と失敗の戦後史～
ハーラン・ウルマン 著
中央公論新社
ケネディのヴェトナム戦争からブッシュの対テロ戦争、トランプの登場まで、過去 60 年間のアメリカの武力行使のなかでも重要な意味を持つ事例を分析。軍事行動の決断を下すための効果的な枠組みが不可欠であることも論じる。

毎日新聞 2020/02/02

2019:8./ 4p,347p
978-4-12-005224-8
本体 ¥3,200+税

時間は存在しない
カルロ・ロヴェッリ 著
NHK出版
“ホーキングの再来”と評される天才物理学者が、「物理学的に時間は存在しない」という考察を展開するとともに、それにもかかわらず私たちはなぜ時間が存在するように感じるのかを、哲学や脳科学などの知見を援用して論じる。

毎日新聞 2020/02/02

2019:8./ 237p
978-4-14-081790-2
本体 ¥2,000+税

精神と物質～分子生物学はどこまで生命の謎を解けるか～
立花 隆、利根川 進 著
文芸春秋
毎日新聞 2020/02/02

1990:7./ 261p
978-4-16-344430-7
本体 ¥1,714+税

こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話(文春文庫 わ 18-2)
文藝春秋
筋ジストロフィー患者の鹿野靖明、34 歳。一人では寝返りも打てないけれど、自由に生きたい! 自ら集めたボランティアに支えられての自宅暮らしは、命がけのわがまま放題で…。実話から生まれた映画のノベライズ。

毎日新聞 2020/02/02

2018:12./ 221p
978-4-16-791195-9
本体 ¥600+税

歌舞伎座の怪紳士
近藤史恵 著
徳間書店
家事手伝いの岩居久澄が、祖母に頼まれた観劇代行のアルバイト。久澄は徐々に芝居の世界にのめり込んでいく。けれど、一つ疑問があった。劇場でいつも会う親切な老紳士。あの人はいったい何者…?『読楽』連載を加筆修正。

毎日新聞 2020/02/02

2020:1./ 272p
978-4-19-865008-7
本体 ¥1,600+税

MARUZEN-YUSHODO

現代アメリカ政治とメディア
前嶋　和弘、山脇　岳志、津山　恵子　著
東洋経済新報社
危機に瀕するアメリカのメディア、「トランプ王国」にみるメディア消費、規制緩和とテクノロジーの進展、アメリカにおける調査報道の現在と今後…。分極化するメディア、変貌する政治の行方を論じる。

毎日新聞 2020/02/02

2019:4./ 12p,398p
978-4-492-76247-9
本体 ¥2,800+税

ヤバい医学部～なぜ最強学部であり続けるのか～
上　昌広　著
日本評論社
医学部をすすめる理由、医学部の歴史と現在、医療の近未来、医学部選びのポイント、医学生時代の過ごし方…。歯に衣着せぬ現役の医師が、自身の半生を振り返りながら、医学部の“本当”を語る。

毎日新聞 2020/02/02

2019:12./ 6p,197p
978-4-535-58740-3
本体 ¥1,500+税

私は本屋が好きでした～あふれるヘイト本、つくって売るまでの舞台裏～
永江　朗　著
太郎次郎社エディタス
仕事だからつくる。配本が多いから書店は平積みする。しくみに忠実な労働が「ヘイト本」を生んだ。見て見ぬふりでつくり上げられてきた“憎悪の棚”を直視し、書店と出版の仕事の実像を明らかにする。

毎日新聞 2020/02/02

2019:11./ 251p
978-4-8118-0839-0
本体 ¥1,600+税

コンスタンティノープル使節記(知泉学術叢書 10)
リウトプランド、大月　康弘　著
知泉書館
外交使節クレモナ司教リウトプランドが、オットー1 世(フランク国王、皇帝)の名代として、968 年にコンスタンティノーブルに赴いた折りの見聞を伝える貴重な史料。「「使節記」の目的と齟齬」など、付論 2 編も収録する。

毎日新聞 2020/02/02

2019:12./ 23p,247p
978-4-86285-305-9
本体 ¥3,300+税

トランプ現象とアメリカ保守思想～崩れ落ちる理想国家～
会田　弘継　著
左右社
アメリカ・ファースト!移民排斥!日米同盟廃棄!25 年前、トランプとまったく同じ政策を掲げた大統領候補がいた。知られざるアメリカ保守思想の最深部から、トランプ現象の真の意味を探る。

毎日新聞 2020/02/02

2016:8./ 205p
978-4-86528-152-1
本体 ¥1,800+税

鴻池幸武文楽批評集成
鴻池　幸武、多田　英俊　著
大阪大学出版会
昭和 10 年代に活躍した文楽研究家、鴻池幸武の文楽評を集成。新資料を含む 55 篇の文楽評に、自筆書入本など周辺資料を併載。夭折の批評家・鴻池幸武の全貌を明らかにするとともに、現代的意義を検討する。

毎日新聞 2020/02/02

2019:2./ 442p
978-4-87259-674-8
本体 ¥7,600+税

MARUZEN-YUSHODO

眞鍋呉夫全句集
眞鍋　呉夫　著
書肆子午線
生涯、師系を持たず、無結社を貫き、自らの生(エロス)と死(タナトス)を極限まで凝視しつづけた俳人・小説家、眞鍋呉夫。第 1 句集「花火」、第 2 句集「雪女」、第 3 句集「月魄」から句集未収録作品まで、その全句業を集成。

2020:1./ 245p
978-4-908568-25-1
本体 ¥2,700+税

毎日新聞 2020/02/02

書をステディー町へレディゴー
安田　謙一、辻井　タカヒロ　著
誠光社
ロック漫筆家・安田謙一と、漫画家・辻井タカヒロが、音楽・映画、書籍などカルチャーに関することを中心に、文章と漫画でつづる。意味はないけど滋味はある、役に立たないネタが満載。『CD ジャーナル』連載を書籍化。

2019:11./ 255p
978-4-9911149-0-8
本体 ¥1,600+税

毎日新聞 2020/02/02

美しい日本の詩～声でたのしむ～(岩波文庫　別冊 25)
大岡　信／谷川　俊太郎　編
岩波書店
焦がれる恋の思いを訴え、人の死を悼み、自然の美しさをほめ、ことば遊びをたのしむ。万葉集から現代詩まで、日本語がもつ深い調べと美しいリズムをそなえた珠玉の作品約 400 を選び、鑑賞の手引きとなる注記を付して収録。

2020:1./ 379p,13p
978-4-00-350028-6
本体 ¥1,100+税

毎日新聞 2020/02/09

レバノンから来た能楽師の妻(岩波新書　新赤版　1818)
梅若　マドレーヌ、竹内　要江　著
岩波書店
祖国の内戦を逃れ来日した女子高生が若き能楽師と出会う。伝統芸能の世界に入る彼女を待ち受けていた試練とは…。能の魅力を妻兼マネージャーとして国内外に発信し、子育てや母の介護に奔走する、ある女性の記録。

2019:12./
12p,205p,3p
978-4-00-431818-7
本体 ¥780+税

毎日新聞 2020/02/09

愛という名の支配(新潮文庫　た-128-1)
田嶋　陽子　著
新潮社
母から、男から、世間から受けてきた抑圧。闘いつづけているうちに、人生の半分が終わっていた-。自らの体験を語り、この社会を覆いつくしている「構造としての女性差別」を説き明かした、フェミニズムの先駆的名著。

2019:11./ 277p
978-4-10-101651-1
本体 ¥590+税

毎日新聞 2020/02/09

イヤシノウタ(新潮文庫　よ-18-34)
吉本　ばなな　著
新潮社
みんなが、飾らずむりせず、自分そのものを生きることができたら、世界はどんなところになるだろう-。日常を見つめ自分のほんとうの時間を生きる術を伝える 81 篇。父・吉本隆明との対談も収録。

2018:11./ 235p
978-4-10-135945-8
本体 ¥490+税

毎日新聞 2020/02/09

MARUZEN-YUSHODO

戦争とは何か～国際政治学の挑戦～(中公新書　2574)
多湖　淳　著
中央公論新社
国際政治学の最前線の成果を生かして科学的に国家間戦争や内戦を論じ、「戦争の原因には何があるのか」など多くの疑問に答える。さらに、緊張を増す東アジアの現状を踏まえ、日本の安全保障等の展望も示す。

毎日新聞 2020/02/09

2020:1./ 5p,201p
978-4-12-102574-6
本体 ¥800+税

音楽ってなんだろう?～知れば知るほど楽しくなる～(中学生の質問箱)
池辺　晋一郎　著
平凡社
人はなぜ音楽せずにいられないのだろう? 作曲家である著者が、音楽の楽しみ方を、聴く・知る・音楽する・つくるというテーマから探り、音楽が高尚なものでも理屈っぽいものでもないことを伝える。

毎日新聞 2020/02/09

2019:12./ 222p
978-4-582-83819-0
本体 ¥1,400+税

政権交代が必要なのは、総理が嫌いだからじゃない～私たちが人口減少、経済成熟、気候変動に対応するために～
田中　信一郎　著
現代書館
なぜ人口減少をもたらす経済になってしまったのか。政治を変えれば社会は良くなるのか。長期にわたる重大な問題に直面している日本の経済、政治、社会の問題を分析し、その対処法を示す。テキストデータ請求券付き。

毎日新聞 2020/02/09

2020:1./ 222p
978-4-7684-5872-3
本体 ¥1,700+税

タイのかたち
赤木　攻　著
めこん
「外来人国家」タイ。タイには「タイ人」はいない。誰が「タイ」をつくったのか? タイ研究の第一人者の長年の研究と考察が、明快なタイ論として結実。自らの体験を踏まえ、不明瞭な「タイのかたち」をわかりやすく伝える。

毎日新聞 2020/02/09

2019:10./ 312p
978-4-8396-0318-2
本体 ¥2,500+税

アメリカは歌う。 コンプリート版
東　理夫　著
作品社
アメリカには、なぜかくも多くの殺人をテーマとした歌があるのか? 建国から現在までのアメリカで生まれた歌に秘められた謎と人びとの想いを追いながら、知られざるもう一つのアメリカの姿を描き出す。

毎日新聞 2020/02/09

2019:10./ 844p
978-4-86182-762-4
本体 ¥4,200+税

「姐御」の文化史～幕末から近代まで教科書が教えない女性史～
伊藤　春奈　著
DU BOOKS
はっきりと自分の意見を言う。不要な笑顔を見せない。女性の正当な怒りの言葉「啖呵」を武器に使う-。姐御が登場する時代劇、やくざ映画を、歴史背景や、製作された時代の社会情勢とともにひもとき、女性像の変化を探る。

毎日新聞 2020/02/09

2019:9./ 16p,267p
978-4-86647-103-7
本体 ¥2,200+税

MARUZEN-YUSHODO

ちいさなタグボートのバラード
東京外国語大学出版会
ぼくはタグボート。ぼくの仕事は、港に入ってくる大型船を停泊させること。いつかぼくも、はるか遠くの海へ行ってみたいけれど…。ノーベル文学賞詩人ブロツキーが子どもたちのために書いた、ちいさなタグボートの美しい物語。

2019:11./ 32p
978-4-904575-77-2
本体 ¥1,900+税

毎日新聞 2020/02/09

キネマ/新聞/カフェー～大部屋俳優・斎藤雷太郎と『土曜日』の時代～
中村 勝、井上 史 編
中村 勝 著
ヘウレーカ
1930 年代半ば、京都で刊行された反ファシズム文化運動の記念碑的な出版物、『土曜日』。その編集・発行名義人であった斎藤雷太郎への聞き書きを通して、『土曜日』とその時代を描き出す。『京都新聞』掲載等を単行本化。

2019:12./ 269p
978-4-909753-06-9
本体 ¥2,500+税

毎日新聞 2020/02/09

旅する黒澤明～槇田寿文ポスター・コレクションより～
国書刊行会
欧米諸国からアジア各国など世界 30 か国で制作された、貴重な黒澤映画のポスター82 点をオールカラーで集成。作品に沿った筆致や大胆で前衛的なポスターデザインとともに、<世界言語>としての黒澤映画を大観できる。

2020:1./ 111p
978-4-336-06543-8
本体 ¥2,600+税

毎日新聞 2020/02/09、朝日新聞 2020/02/29

死を招くファッション～服飾とテクノロジーの危険な関係～
アリソン・マシューズ・デーヴィッド、安部 恵子 著
化学同人
19 世紀?20 世紀前半、科学技術がもたらした革新的ファッションは、数々の悲惨なできごともひきおこした。歴史的・社会的背景や科学的・医学的側面とともに、ファッションの犠牲者の物語を示す。

2019:12./ 236p
978-4-7598-2014-0
本体 ¥3,500+税

毎日新聞 2020/02/09、読売新聞 2020/02/23

原民喜戦後全小説(講談社文芸文庫 は F4)
原 民喜 著
講談社
広島で被爆し一命を取り留めた原民喜は、この惨劇を書き残すことを決意。“殺人光線”で焼けただれた肉体を、死にゆく者の呻き声を、遺体に埋もれ地獄絵図と化した光景を、克明に描き尽くす。「夏の花」など全 39 篇を収録。

2015:6./ 579p
978-4-06-290276-2
本体 ¥2,200+税

毎日新聞 2020/02/16

歩道橋シネマ
恩田 陸 著
新潮社
秘かに都市伝説となった歩道橋を訪れた「私」が記憶と現実と世界の裂け目を目撃する表題作ほか、ホラー、SF、青春、ミステリなどあらゆるジャンルの全 18 編を収録する。『小説新潮』ほか掲載をまとめて単行本化。

2019:11./ 315p
978-4-10-397112-2
本体 ¥1,600+税

毎日新聞 2020/02/16

月の落とし子
穂波　了 著
早川書房
新しい時代の有人月探査「オリオン計画」で、月面のシャクルトン・クレーターに降り立った宇宙飛行士が吐血して急死する。死因は正体不明のウィルスへの感染!? 生き残ったクルーは地球への帰還を懸命に試みるが…。

2019:11./ 359p
978-4-15-209896-2
本体 ¥1,800+税

毎日新聞 2020/02/16

新芸とその時代～昭和のクラシックシーンはいかにして生まれたか～
野宮　珠里 著
人文書院
日本のクラシック界をリードした音楽事務所「新芸術家協会」はどのようにネットワークを築いていったのか。関係者への丹念なインタビューによって明らかにする。『毎日新聞』WEB 版「クラシックナビ」連載を書籍化。

2019:12./ 297p
978-4-409-10042-4
本体 ¥3,000+税

毎日新聞 2020/02/16

雲(海外文学セレクション)
エリック・マコーマック、柴田　元幸 著
東京創元社
偶然入った古書店で見つけた 1 冊の本。そこにはある町で起きた黒曜石雲という謎の雲にまつわる奇怪な出来事が書かれていた。その町を訪れたことがある男は、重く苦しい記憶が甦り、自らの亡霊にめぐり会い…。

2019:12./ 461p
978-4-488-01674-6
本体 ¥3,500+税

毎日新聞 2020/02/16

日中関係史～1500 年の交流から読むアジアの未来～
エズラ・F.ヴォーゲル、益尾　知佐子 著
日本経済新聞出版社
永遠の隣人、日中の歴史から世界とアジアの未来が見える。日中両国の研究者である著者が、7 世紀の遣隋使以来の 1500 年間におよぶ日中関係を網羅し、第三者の視点から客観的な日中関係史を記述する。

2019:12./ 650p
978-4-532-17674-7
本体 ¥3,000+税

毎日新聞 2020/02/16

危機と人類<上>
ジャレド・ダイアモンド、小川　敏子、川上　純子 著
日本経済新聞出版社
ペリー来航の日本、ソ連に侵攻されたフィンランド…。国家的危機に直面した各国国民は、いかにして変革を選び取り、繁栄への道を進んだのか。世界 7 か国の事例から、次の劇的変化を乗り越えるための叡智を説き明かす。

2019:10./ 274p 図版 16p
978-4-532-17679-2
本体 ¥1,800+税

毎日新聞 2020/02/16

危機と人類<下>
ジャレド・ダイアモンド、小川　敏子、川上　純子 著
日本経済新聞出版社
現代日本は、基本的価値観を再評価し、意味が薄れたものと残すべきものを峻別し、新しい価値観をさらに加えることで、現実に適応できるだろうか? 博覧強記の博士が、世界を襲う危機と、解決への道筋を提案する。

2019:10./ 331p 図版 16p
978-4-532-17680-8
本体 ¥1,800+税

毎日新聞 2020/02/16

MARUZEN-YUSHODO

汚れた桜～「桜を見る会」疑惑に迫った 49 日～
毎日新聞「桜を見る会」取材班 著
毎日新聞出版
「桜を見る会」で何が起きたのか。SNS を通じて届く人々の声を背に、問題発覚から 2019 年最後の野党による政府ヒアリングまでの 49 日間を分かりやすく伝える。『毎日新聞』ニュースサイト掲載記事に加筆し書籍化。

2020:2./ 227p
978-4-620-32619-1
本体 ¥1,200+税

毎日新聞 2020/02/16

No Image

昨日の世界<1>(みすずライブラリー)
シュテファン・ツヴァイク 著
みすず書房
私が物語るのは、私の運命ではなくて、ひとつの世代全体の運命である…。第二次世界大戦の直後に、一つの時代の終焉をみた著者がおくる、人類への証言と遺産。73 年刊「ツヴァイク全集第 19 巻」の再刊。〈ソフトカバー〉

1999:3./ 350p,3p
978-4-622-05034-6
本体 ¥3,200+税

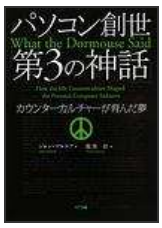
毎日新聞 2020/02/16

No Image

昨日の世界<2>(みすずライブラリー)
シュテファン・ツヴァイク 著
みすず書房
世紀末ウィーンから二つの大戦へ。ホフマンスタール、リルケ、ロラン、フロイトらとの交流を織り混ぜつつ、ヨーロッパの偉大と悲惨を描いた自伝。73 年刊「ツヴァイク全集第 20 巻」の再刊。〈ソフトカバー〉

1999:3./ p355 ～ 661,10p
978-4-622-05035-3
本体 ¥3,200+税

毎日新聞 2020/02/16



パソコン創世「第 3 の神話」～カウンターカルチャーが育んだ夢～
ジョン・マルコフ 著
NTT出版
サンフランシスコ湾岸地区の 1962 年から 1975 年を舞台に、多くのインタヴューに基づき、パーソナル・コンピュータ誕生の話を生き生きと展開する。アップルや PARC より前の、決して語られなかった神話が明らかになる。

2007:10./ 432p
978-4-7571-0195-1
本体 ¥2,800+税

毎日新聞 2020/02/16

ネット・バカ～インターネットがわたしたちの脳にしていること～
ニコラス・G.カー 著
青土社
グーグルで知らないことを検索し、ツイッターで日常をつぶやき、iPad で本を読む。インターネットメディアを当たり前に使う日常の中で、脳は少しずつ変化しているー。メディア論から神経科学までを使って驚きの真実を暴く。

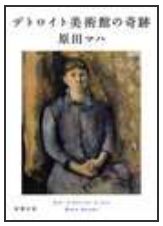
2010:7./ 359p,5p
978-4-7917-6555-3
本体 ¥2,200+税

毎日新聞 2020/02/16

ブッシュマンの民話
田中 二郎 著
京都大学学術出版会
アフリカ大陸南部のカラハリ砂漠。半世紀にわたってブッシュマンの生活を追いかけてきた著者が彼らの民話を記録し、特徴的なクリック音を再現しつつ、語りのままに書き起こす。狩猟採集民の精神世界を語る 29 話を収録。

2020:1./ 19p,265p
978-4-8140-0249-8
本体 ¥2,800+税

毎日新聞 2020/02/16



デトロイト美術館の奇跡(新潮文庫　は-63-3)
原田　マハ　著
新潮社
綺羅星のようなコレクションを誇る美術館が、市の財政難から存続の危機にさらされる。市民の暮らしと前時代の遺物、どちらを選ぶべきか…。アメリカで本当に起こった、ささやかで偉大な奇跡の物語。

毎日新聞 2020/02/16、朝日新聞 2020/02/22

2020:1./ 133p
978-4-10-125963-5
本体 ¥460+税

チャップリンとヒトラー～メディアとイメージの世界大戦～
大野　裕之　著
岩波書店
わずか 4 日違いで生まれ、時代を制した 2 人のモンスター、チャップリンとヒトラー。チャップリンがヒトラーに真っ向から対決を挑んだ映画「独裁者」をめぐるメディア戦争の実相を、知られざる資料を駆使し、スリリングに描く。

毎日新聞 2020/02/23

2015:6./ 14p,293p,7p
978-4-00-023886-1
本体 ¥2,200+税

江南の発展～南宋まで～(シリーズ中国の歴史　2)
丸橋　充拓　著
岩波書店
中国は、北は草原世界、南は海域世界へと開かれている。長江流域に諸文化が展開する先秦から、モンゴルによる大統一を迎える南宋末までの長いスパンで「海の中国」を俯瞰。栄えゆく姿を、社会の重層性にも着目しつつ描く。

毎日新聞 2020/02/23

2020:1./
21p,192p,18p
978-4-00-431805-7
本体 ¥820+税

天切り松闇がたり<第 5 巻>　ライムライト(集英社文庫　あ 36-25)
浅田　次郎　著
集英社
昭和 7 年。チャップリンの来日を控え、軍人たちの陰謀がひそかに進行。きなくさい流れに逆らおうと、伝説の夜盗・目細の安吉一家が挑んだ大勝負とは?「ライムライト」など全 6 編を収録。

毎日新聞 2020/02/23

2016:8./ 280p
978-4-08-745475-8
本体 ¥560+税

チャップリン自伝～栄光と波瀾の日々～(新潮文庫　チ-2-2)
チャップリン　著
新潮社
アメリカン・ドリームを体現し、名作を次々と世に送り出したチャップリン。私生活では 2 度の離婚を体験し、戦後は「赤狩り」で米国を追放され…。「喜劇王」の後半生を自らふりかえって描く。

毎日新聞 2020/02/23

2018:1./ 688p
978-4-10-218504-9
本体 ¥990+税

どこか、安心できる場所で～新しいイタリアの文学～
パオロ・コニェッティ、アンドレア・ラオス　編
パオロ・コニェッティ　著
国書刊行会
いまを生きる新しいイタリアの作家による短篇アンソロジー。2000 年以降に発表された 13 人の作家(うち 11 人が日本初紹介)による 15 の物語を収録する。巻末に各作家・作品を詳述する解説も掲載。

毎日新聞 2020/02/23

2019:11./ 329p
978-4-336-06539-1
本体 ¥2,400+税

MARUZEN-YUSHODO

天皇と戸籍～「日本」を映す鏡～(筑摩選書　0181)
遠藤　正敬　著
筑摩書房
「日本人」たることを証明する戸籍、戸籍をもたない天皇家。天皇制と戸籍はいかなる関係にあるのか? その根底には何があるのか? 天皇制と戸籍の歴史を検証し、現代的意味を問い直す。

2019:11./ 284p
978-4-480-01691-1
本体 ¥1,600+税

毎日新聞 2020/02/23

<賄賂>のある暮らし～市場経済化後のカザフスタン～
岡　奈津子　著
白水社
カザフスタンの人びとは、生活や仕事の問題を解決するために、カネとコネをどのように駆使しているのか。その多様なサバイバル戦略を具体的に描き出すと同時に、彼らの直面する厳しい現実、たくましい暮らしぶりも紹介する。

2019:10./ 245p,8p
978-4-560-09728-1
本体 ¥2,200+税

毎日新聞 2020/02/23

評伝西部邁
髙澤秀次　著
毎日新聞出版
日本および日本人を問い続けた稀有なる思想家は、なぜ壮絶な自裁死を遂げたのか。西部邁の劇的な生涯を戦後史の中に描き、ニヒリズムを超えようとする思想的格闘の軌跡に迫る。『サンデー毎日』連載を加筆し書籍化。

2020:1./ 203p
978-4-620-32616-0
本体 ¥2,000+税

毎日新聞 2020/02/23

日本のセーフティーネット格差～労働市場の変容と社会保険～
酒井　正　著
慶應義塾大学出版会
誰が「皆保険」から漏れ落ちているのか。社会保険を中心とするセーフティーネットが直面している課題を、「就業」という切り口から検討。今後の改革のための指針をエビデンスをもとに模索する。

2020:2./ 18p,331p
978-4-7664-2649-6
本体 ¥2,700+税

毎日新聞 2020/02/23

羽田増便・都心低空飛行が危険なこれだけの理由～パイロットは知っている～(合同ブックレット　12)
杉江　弘／山口宏弥　著
合同出版
尻もち事故を誘発する急降下アプローチ、低空飛行による騒音被害、住民や自治体の意思を無視した行政手法…。2020 年 3 月末の夏ダイヤから行われる羽田空港増便計画の危険性を、元日本航空パイロットが語る。

2020:2./ 111p
978-4-7726-1419-1
本体 ¥1,000+税

毎日新聞 2020/02/23

夜は歌う(韓国文学セレクション)
キム・ヨンス（金　衍洙）　著
新泉社
間島の地で生きていく朝鮮人は、死ぬまで自分が何者なのかわからない存在-。満州国が建国された 1930 年代の北間島を舞台に、愛と革命に引き裂かれ、国家・民族・イデオロギーに翻弄された若者たちの不条理な生と死を描く。

2020:2./ 315p
978-4-7877-2021-4
本体 ¥2,300+税

毎日新聞 2020/02/23

MARUZEN-YUSHODO

アインシュタインの言葉　エッセンシャル版
アインシュタイン　著
ディスカヴァー・トゥエンティワン
「成功の秘訣は、よく働き、よく遊び、無駄口を慎むことです」「老年にいたっても、人生にはたいへん美しい瞬間があります」…。愛と信念と謙虚さとユーモアに満ちた、天才・アインシュタインの温かい言葉たちを紹介します。

2015:11./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-7993-1813-3
本体 ¥1,000+税

毎日新聞 2020/02/23

歴史としての日教組<上巻> 結成と模索
広田 照幸 編
古賀 徹／宇内 一文／布村 育子／高木 加奈絵／松嶋 哲哉／長嶺 宏作／徳久恭子／冨士原 雅弘／香川 七海 著
名古屋大学出版会
膨大な非公開史料や関係者へのインタビューに基づき、日教組の歴史を学術的に徹底検証。上は、戦後の労働運動での立ち位置から、独自の教育理念や「教師の倫理綱領」の作成まで、初期の模索を跡づける。

2020:2./ 6p,311p,16p
978-4-8158-0972-0
本体 ¥3,800+税

毎日新聞 2020/02/23

歴史としての日教組<下巻> 混迷と和解
広田 照幸 編
末冨 芳／筒井 美紀／田中 真秀／香川 七海／植上 一希／佐藤 晋平／小野方資 著
名古屋大学出版会
膨大な非公開史料や関係者へのインタビューに基づき、日教組の歴史を学術的に徹底検証。下は、1980 年代の労働戦線の再編から、教育運動の転換、文部省との「歴史的和解」まで、新たな路線選択の時代に迫る。

2020:2./ 6p,303p,14p
978-4-8158-0973-7
本体 ¥3,800+税

毎日新聞 2020/02/23

浜藻崎陽歌仙帖
別所 真紀子 著
幻戯書房
江戸時代に諸国を行脚し、旅先で歌仙を巻いた実在の女俳諧師・五十嵐浜藻。彼女は史上初めて女性ばかりの付合(連句)集「八重山吹」を完成させ…。俳諧小説の第一人者が、史実に添って大胆に描いた長篇小説。

2019:12./ 267p
978-4-86488-180-7
本体 ¥2,400+税

毎日新聞 2020/02/23

時代の変わり目に立つ～平成快気談～
御厨 貴 著
吉田書店
代わり続ける皇室、政治家、都市、メディア…。平成から令和へ、政治史家が見つめた時代の変遷をまとめる。講演「ポスト平成とは何か」や、梯久美子、松原隆一郎との対談、『日本経済新聞』『朝日新聞』ほか掲載の文章を収録。

2020:1./ 7p,193p
978-4-905497-84-4
本体 ¥1,700+税

毎日新聞 2020/02/23